

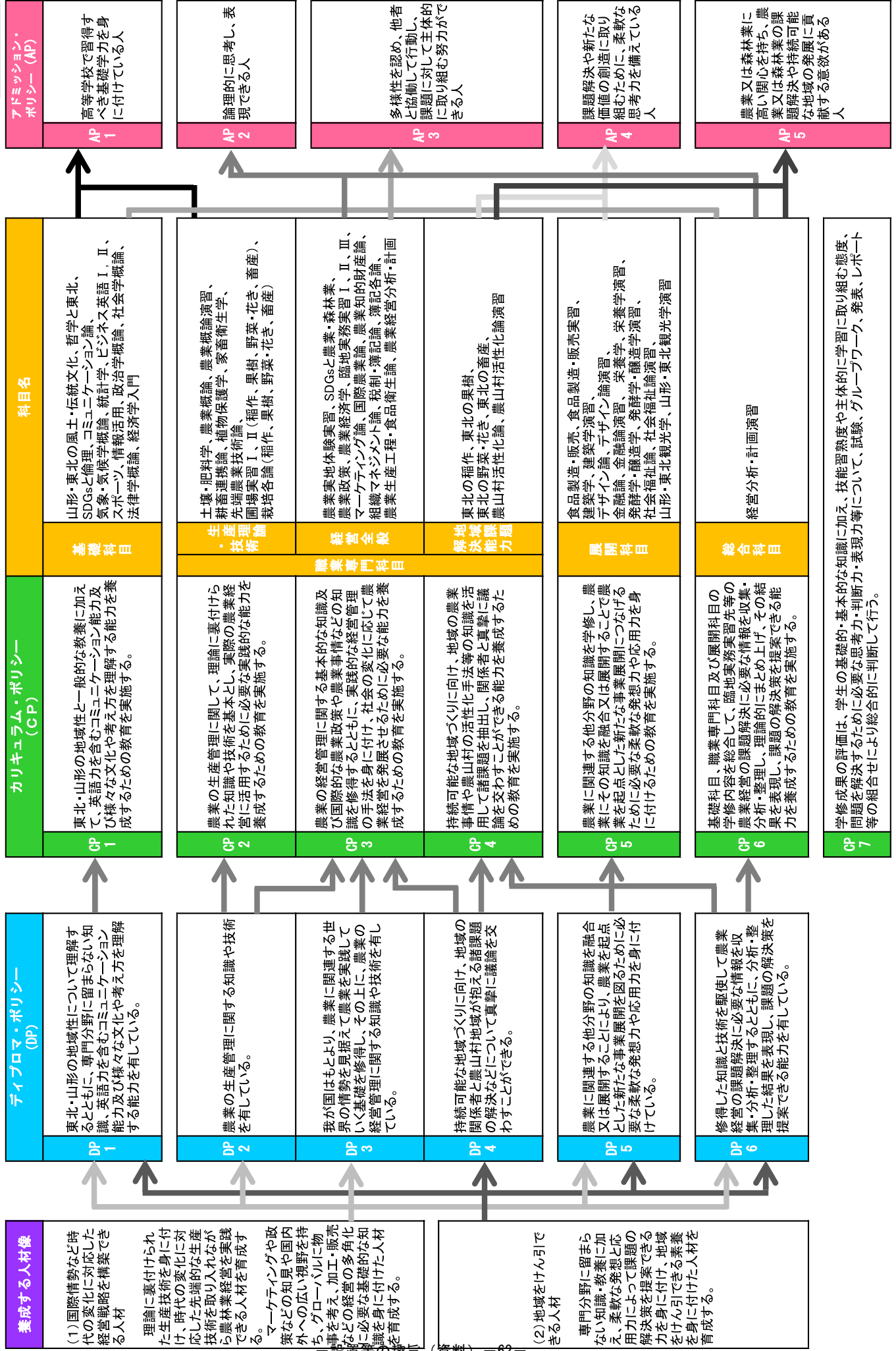
基本戦略 4 「やまがた森林ノミクス」の加速化 ⑫人材育成・地域づくり

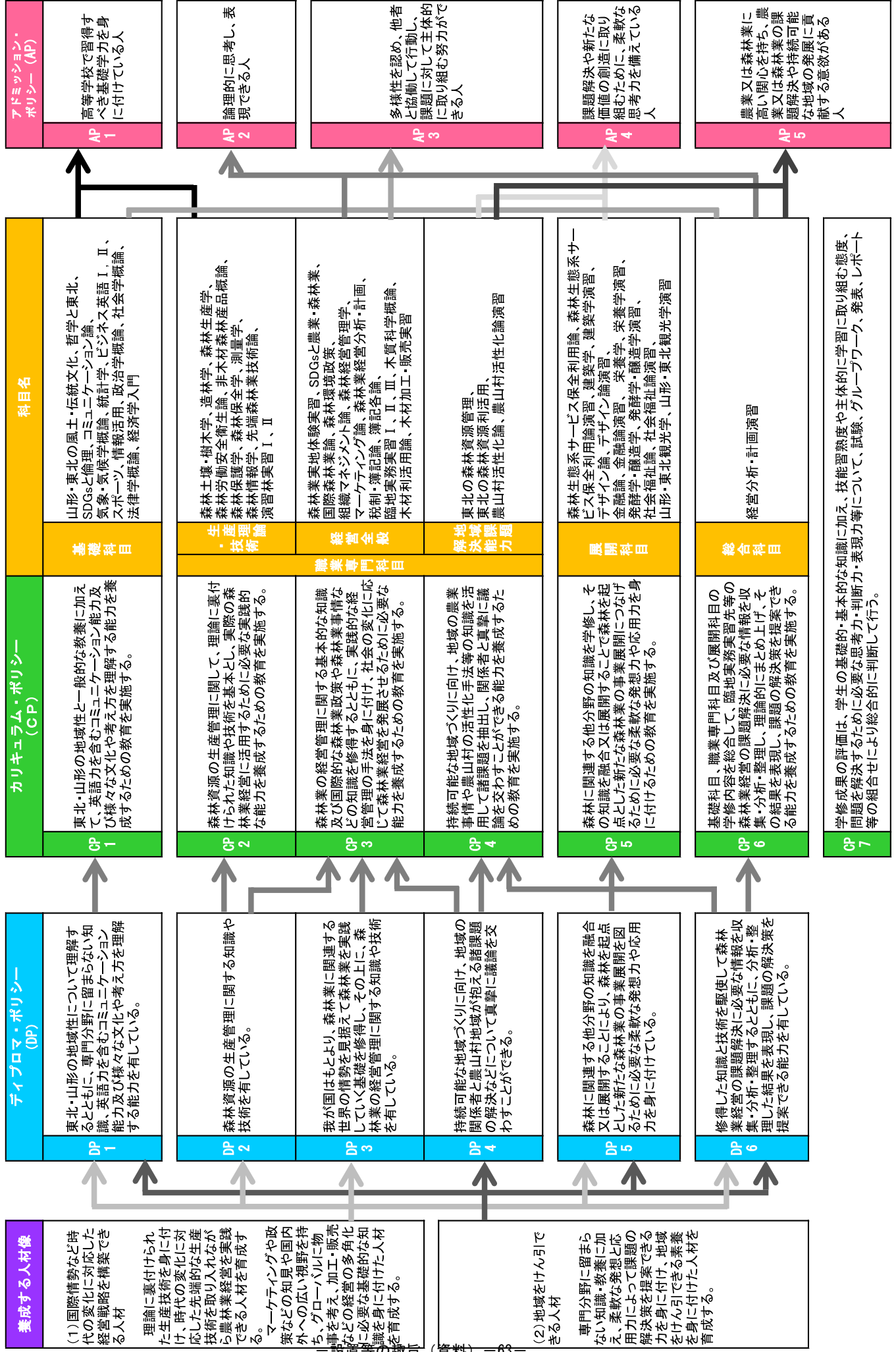
プロジェクト 50	林業を支える人材育成と事業体強化プロジェクト	取組内容					取組機関																		
		本庁	村山	最上	置賜	庄内																			
<p>【プロジェクトの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林組合など林業事業体の生産性向上や労働環境の改善による経営力の向上を促進するとともに、林業労働における安全衛生の向上を推進する。 ○県立農林大学校林業経営学科等により、林業の現場を担う技術者を育成するとともに、東北農林専門職大学(仮称)の設置などにより、高度で専門的な知識や技術を身に付けた、収益性の高い林業を実践できる人材を育成する。 <p>～現状・課題～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内の森林組合など林業事業体では、森林施業の集約化を担う「森林施業プランナー」や現場管理を担う「フォレストリーダー(現場管理責任者)」などが中心となり、森林施業の集約化や低コスト作業に取り組んでいるほか、平成31年4月に施行された森林経営管理制度における森林経営の受け皿として期待される「意欲と能力のある林業経営者」※への登録事業体も増えている。 しかし、林業事業体の多くは労働生産性や収益性の向上が課題であり、事業の合理化等により経営力の強化や、労働環境の改善、労働災害の防止に向けた取組みが必要である。 <p>※意欲と能力のある林業経営者：森林経営管理法に基づき、市町村から森林の経営管理の再委託を受けることを希望する民間事業者(※2.12.31現在で31事業体を選定・公表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内の林業への新規就業者は、平成28年の県立農林大学校への林業経営学科の開設や林野庁の「緑の雇用事業」(平成15年度から)の活用等により増加傾向にあり、令和元年度には66人となっている。また、林業就業者数は、長期的には減少しているが、近年は1,100名前後で推移しており、このうち女性性は150名程度となっている。 森林資源の循環利用の促進に向けて、県立農林大学校林業経営学科や「緑の雇用事業」等による人材の養成・育成等に加え、東北農林専門職大学(仮称)の設置等により、将来にわたり、若者や女性を含めた新規就業者の着実な確保や林業事業体の経営を担う技術者の育成・確保に向けた取組みが必要である。 	<p>①「意欲と能力のある林業経営者」等の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「意欲と能力のある林業経営者」の育成による、森林整備や木材生産等を担う林業事業体の経営力向上の促進 ・県林業労働力確保センターとの連携による、林業事業体への労働環境の改善や事業の合理化等の取組みの指導・支援 ・森林組合の組織運営の見直し・強化の促進 ・林業・木材製造業労働災害防止協会の山形県支部等との連携による、林業労働災害防止に向けた取組みの促進 <p>②林業経営を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者の確保に向けた、就業体験研修等の開催や、農林大学校林業経営学科の学生に対する緑の青年就業準備給付金の給付等 ・林業関係への若者や女性の参加を一層促進するため、林業就業希望者や高校生を対象とした体験研修や林業就業ガイダンス等 ・森林施業の集約化を担う「森林施業プランナー」や、これからの林業経営を担う「森林経営プランナー」の育成 ・「フォレストリーダー」など現場管理を担う林業技術者等の育成やスキルアップを実施 ・林業の技術指導や新規就業者の支援等を担う林業士(指導林業士・青年林業士)の育成・強化を推進 <p>③専門職大学の開学・運営[関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開学に向け、カリキュラムや入試内容等の具体的事項を定める基本計画や施設整備等の検討 ・卒業生の県内定着に向けて、関係団体と連携した支援体制の構築 ・専門職大学の講義や現場での実習をして、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏付けられた実践力を備える高度な農林業人材の育成 	○	○	○	○	○	○	○																	
<p>プロジェクト目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標指標</th> <th rowspan="2">現状値</th> <th colspan="4">指標値(工程)</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林業の新規就業者数(4年間の累計)</td> <td>237人 (H28～R1年度)</td> <td>70人</td> <td>140人</td> <td>210人</td> <td>280人</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：森林ミクス推進課調べ</p>	目標指標	現状値	指標値(工程)				R3	R4	R5	R6	林業の新規就業者数(4年間の累計)	237人 (H28～R1年度)	70人	140人	210人	280人									
目標指標			現状値	指標値(工程)																					
	R3	R4		R5	R6																				
林業の新規就業者数(4年間の累計)	237人 (H28～R1年度)	70人	140人	210人	280人																				

※「取組機関」中の「本庁」・・・農林水産部(研究機関、農林大学校等の農林水産部出先機関を含む)

東北農林専門職大学農業経営学科の養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの対応関係

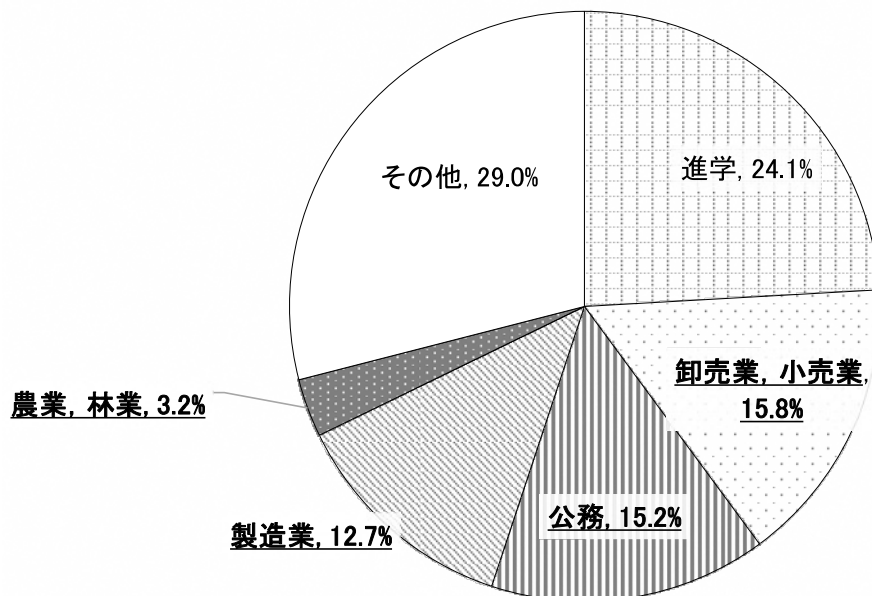
資料 11





既存大学卒業生の進路状況(山形県)

大卒者の産業別就職状況(農学部)



近隣大学卒業生の産業別就職状況(農学部) (n=158) (令和3年3月)
出典: 山形大学ホームページ

山形大学農学部食料生命環境学科 アグリサイエンスコースの教育課程

1 卒業までに修得すべき単位数

科目 \ 学 科	食料生命環境学科
基盤共通教育科目	46
専門教育科目	91
合 計	137

2 基盤共通教育科目

(1) 基盤共通教育科目の最低修得単位数

科 目	単 位 数
導入科目 (スタートアップセミナー)	2
基幹科目	4
教養科目	25
コミュニケーション・スキル2 (初修外国語)	
情報科学	
健康・スポーツ	
サイエンス・スキル (小白川キャンパス開講)	
キャリアデザイン (小白川キャンパス開講)	4
サイエンス・スキル (鶴岡キャンパス開講)	3
キャリアデザイン (鶴岡キャンパス開講)	8
コミュニケーション・スキル1 (英語1, 英語2及び英語3)	46
合 計	

(2) 教養科目は、「文化と社会」、「自然と科学」、「応用と学際」の3領域のうち、2領域以上で1科目以上の単位を修得すること。

(3) 「サイエンス・スキル (鶴岡キャンパス開講)」は、2年次に開講する「食料生命環境科学実験実習」及び「情報処理演習」の2科目4単位を修得すること。

(4) 「キャリアデザイン (鶴岡キャンパス開講)」は、2年次開講の「キャリア形成論」の1単位及び2年次以降開講 (コースにより異なる) の「先輩から学ぶ」又は「地域から学ぶ」のどちらか1科目2単位を含む、計3単位を修得すること。

(5) 「コミュニケーション・スキル1 (英語1, 英語2及び英語3)」は、2年次以上開講 (英語2及び英語3) の各コース指定科目4単位を含む、計8単位を修得すること。なお、英語1の4単位は、小白川キャンパスにて修得することが望ましい。

3 専門教育科目

(1) 専門教育科目の最低修得単位数

・アグリサイエンスコース

履修プログラム		基幹 プログラム	国際展開 プログラム	地域創生 プログラム
科 目				
専門基礎導入科目		1 1	1 1	1 1
学科共通 科目	必 修 科 目	/	/	1
	選択必修科目	6	8 ※1	6
	選 択 科 目	/	/	※4
コース共通 科目	必 修 科 目	2 3	2 3	2 3
	選 択 科 目	3 3	2 1 ※2	※4
プログラム別 科目	必 修 科 目	8	1 5	1 0
	選択必修科目	/	3 ※3	8
	選 択 科 目	/	/	※4
卒 業 研 究		1 0	1 0	1 0
合 計		9 1	9 1	9 1

※1 選択必修科目「国際理解Ⅰ（海外研修）」を選択した場合。ただし、プログラム別科目の選択必修科目「国際理解Ⅱ」を選択した場合は、6単位となる。

※2 学科共通科目の選択必修科目「国際理解Ⅰ（海外研修）」を選択した場合。ただし、プログラム別科目の選択必修科目「国際理解Ⅱ」を選択した場合は、19単位となる。

※3 学科共通科目の選択必修科目「国際理解Ⅰ（海外研修）」を選択した場合。ただし、選択必修科目「国際理解Ⅱ」を選択した場合は、7単位となる。

※4 各区分から合計22単位を修得すること。

4 基盤共通教育科目(2年次以降)及び専門教育課程表

基盤共通教育課程表(2年次以降)

授業科目			毎週授業時間数								履修プログラム毎の必修・選択の別			備考
			1年		2年		3年		4年		基幹	国際展開	地域創生	
領域	科目名	単位	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
サイエンス・スキル	食料生命環境学実験実習(農学)	2			4							◎	◎	◎
	情報処理演習(農学)	2				2						◎	◎	◎
キャリアデザイン	キャリア形成論(キャリア教育)	1			1							◎	◎	◎
	先輩から学ぶ(キャリア教育)	2			2							△	△	△
	地域から学ぶ(キャリア教育)	2				2						△	△	◎
コミュニケーション・スキル	外国書演習Ⅰ(英語2)	2			2							◎	◎	◎
	外国書演習Ⅱ(英語3)	2					2					◎	◎	◎
小計		13												

専門教育課程表

授業科目			毎週授業時間数								履修プログラム毎の必修・選択の別			備考	
			1年		2年		3年		4年		基幹	国際展開	地域創生		
区分	科目名	単位	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専門基礎導入科目	食料生命環境学入門	2	2									◎	◎	◎	
	先端農学	2	2									◎	◎	◎	
	基礎農学セミナー	1	1									◎	◎	◎	
	アグリサイエンスコース概論	2		2								◎	◎	◎	
	バイオサイエンスコース概論	2		2								◎	◎	◎	
	エコサイエンスコース概論	2		2								◎	◎	◎	
	小計	11													
学科共通科目	選択必修科目	基礎土壌学	2			2						△	△	△	
		基礎生態学	2			2						△	△	△	
		遺伝学	2			2						△	△	△	
		基礎農林経済学	2			2						△	△	△	
		統計学基礎	2			2						△	△	△	
		小計	10												
	選択科目	地域創生セミナー	1			1									
		国際展開セミナー	1			1									
		雪山実習	1				2								
		学外実習(インターンシップ-I)	1					2						◎	
		学外実習(インターンシップ-II)	1					2							
		国際理解Ⅰ(海外研修)	2					2					△		
		公開森林実習	1												開講期については青宮実地大学による
		小計	8												

授業科目			毎週授業時間数								履修プログラム毎の 必修・選択の別			備考		
			1年		2年		3年		4年		基 幹	国 際 展 開	地 域 創 生			
区 分	科目名	単 位	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期						
コ ム ニ カ シ ョ ン 科 目	作物学	2				2						◎	◎	◎		
	園芸学の基礎	2				2						◎	◎	◎		
	畜産学	2				2						◎	◎	◎		
	植物保護学	2				2						◎	◎	◎		
	食料生産技術学	2				2						◎	◎	◎		
	食料生産経営学	2				2						◎	◎	◎		
	農業政策と地域振興	2				2						◎	◎	◎		
	フィールド科学	1			1							◎	◎	◎		
	フィールド科学実験実習-I	2			4							◎	◎	◎		
	食料生産基礎実験実習	2			4							◎	◎	◎		
	食料生産科学専門実験実習I	2				4						◎	◎	◎		
	フィールド科学実験実習-II	2				4						◎	◎	◎		
	小計	23														
		作物栽培学	2				2									
		安全農産物生産機械学	2						2							
		飼料生産利用学*	2				2									
		家畜管理学	2				2									
		家畜生産利用学	2						2							
		植物病害防除論	2						2							
		花卉園芸学	2						2							
		果樹園芸学*	2				2									
		野菜園芸・施設学	2						2							
		環境保全型栽培土壌学	2						2							
	植物病理学*	2			2											
	植物育種学*	2			2											
	基礎植物栄養生理学	2			2											
	フードシステム論*	2			2											
	農村地域の歴史と生活*	2			2											
	消費者行動論	2				2										
	農業会計学*	2				2										
	農業と農村の地理学*	2				2										
	バイオマス資源学*	2				2										
	応用力学	2						2								
	地域資源循環学*	2						2								
	医食農融合論	2						2								
	小計	44														

授業科目			毎週授業時間数								履修プログラム毎の必修・選択の別			備考
			1年		2年		3年		4年		基幹	国際展開	地域創生	
区分	科目名	単位	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基幹	食料生産科学専門実験実習Ⅱ	2						4			◎			
	食料生産研究準備演習	2						2			◎			
	食料生産研究演習Ⅰ	2							2		◎			
	食料生産研究演習Ⅱ	2							2		◎			
	小計	8												
国際展開	国際展開プログラム概論Ⅰ	2					2				◎			
	国際展開プログラム概論Ⅱ	2						2			◎			
	Intensive Scientific Communication Course	1							1		◎			
	国際理解Ⅱ	4						4			△			
	国際理解Ⅲ	1							1					
	グローバル食農環境論								○	○			成績は大学院進学後に評価	
	英語コミュニケーション演習Ⅰ	5			1	1	1	1	1	1		△	5単位のうち3単位を選択必修とする	
	英語コミュニケーション演習Ⅱ	4				2	2					◎		
	国際展開プログラム演習Ⅰ	2						2				◎		
	国際展開プログラム演習Ⅱ	2							2			◎		
	国際展開プログラム演習Ⅲ	2								2		◎		
国際農業演習	2						2							
	小計	27												
地域創生	地域創生論Ⅰ	2			2									
	地域創生論Ⅱ	1				1						◎		
	食と農のビジネス論	8					○	○	○	○		△	※単位が異なる場合は履修要項を参照してください	
	果樹園芸学*	2				2						△		
	植物病理学*	2				2						△		
	フードシステム論*	2				2						△		
	農村地域の歴史と生活*	2				2						△		
	農業会計学*	2					2					△		
	農業と農村の地理学*	2					2					△		
	植物育種学*	2				2						△		
	バイオマス資源学*	2					2					△		
	在来植物資源学	2					2					△		
	食品加工学	2					2					△		
	陸水環境論	2					2					△		
	農業水文学	2					2					△		
	森林社会論	2					2					△		
	飼料生産利用学*	2					2					△		
	地域資源循環学*	2						2				△		
	地域創生プログラム実習	1					2					◎		
	地域創生プログラム専門演習	4						4				◎		
地域創生研究演習Ⅰ	2							2			◎			
地域創生研究演習Ⅱ	2								2		◎			
	小計	50												
卒業研究		10							○	○	◎	◎	◎	

(注) 授業科目名欄：

*：別区分で同一科目名が開講されている科目（両方修得することはできない）

(注) 履修プログラム毎の必修・選択の別の欄：

◎：必修科目（各履修プログラムで修得が義務付けられている科目）

△：選択必修科目（各履修プログラムで、各自選択の上、一定単位数の修得が義務付けられている科目）

記号なし：選択科目（修得が各自の選択に任されている科目）

山形県立農林大学校「稲作経営学科」の教育課程

1 総単位数

科目	1学年	2学年	計
①一般教養科目	8	6	14
②農林業専門共通科目	14	21	35
③専攻科目	28	24	52
必修科目 計(①+②+③)	50	51	101
④専門科目(自由選択科目)	5	2	7
総履修科目合計(①+②+③+④)	55	53	108

2 科目別の単位数

(1)一般教養科目

【1学年】

科目名	区分		単位数
教養講座	講義	必修	1
英会話Ⅰ	講義	必修	2
人間と社会	講義	必修	1
体育Ⅰ	演習	必修	2
英語Ⅰ	講義	選択	2
ビジネス基礎講座Ⅰ	講義		
就農講座Ⅰ	講義		
計			8

(2)農林業専門共通科目

【1学年】

科目名	区分		単位数
農林業と経営管理基礎	講義	必修	1
農林業生産概論	講義	必修	1
農業簿記Ⅰ	講義	必修	1
農業簿記Ⅱ	講義	必修	1
スマート農林業Ⅰ	演習	必修	2
農林業・環境・GAP講座	講義	必修	1
マーケティング基礎	講義	必修	1
6次産業化	演習	必修	1
卒業論文計画	演習	必修	4
特別講義Ⅰ(トップマネジメント講座)	講義	必修	1
必修科目 小計			14
応用英語Ⅰ	講義	自由	1
販売管理	講義		2
毒物・劇物資格講座	講義		1
情報発信とネットビジネス	演習		1
自由科目 小計			5
計			19

(3)専攻科目

【1学年】

科目名	区分		単位数
植物育種	講義	必修	1
水稻生理	講義	必修	1
土壌肥料	講義	必修	2
作物病害虫防除	講義	必修	1
水稻栽培Ⅰ	講義	必修	3
畑作物栽培	講義	必修	1
耕畜連携	講義	必修	1
農業機械実習Ⅰ	実習	必修	1
稲作生産販売実習Ⅰ	実習	必修	12
地域協働研究	実習	必修	1
先進農業者等体験学習	実習	必修	4
必修科目 小計			28

【2学年】

科目名	区分		単位数
英会話Ⅱ	講義	必修	2
暮らしと社会経済の動向	講義	必修	1
体育Ⅱ	演習	必修	2
英語Ⅱ	講義	選択	1
ビジネス基礎講座Ⅱ	講義		
就農講座Ⅱ	講義		
計			6

【2学年】

科目名	区分		単位数
財務管理	講義	必修	2
海外農林業	講義	必修	1
マーケティング実践	実習	必修	1
スマート農林業Ⅱ	演習	必修	1
農林業への県民理解	講義	必修	1
卒業論文	演習	必修	14
特別講義Ⅱ(トップマネジメント講座)	講義	必修	1
必修科目 小計			21
応用英語Ⅱ	講義	自由	1
農業機械実習Ⅱ	実習		1
自由科目 小計			2
計			23

【1学年】

科目名	区分		単位数
環境保全と農業	講義	必修	1
作物総合防除	講義	必修	1
稲作経営	講義	必修	2
水稻栽培Ⅱ	講義	必修	2
農業機械	講義	必修	1
機械操作整備演習	演習	必修	2
稲作生産販売実習Ⅱ	実習	必修	15
必修科目 小計			24

農業経営学科の「カリキュラム・マップ」とディプロマ・ポリシーとの関連

【養成する人材像】

- (1) 国際情勢など時代の変化に対応した経営戦略を構築できる人材
理論に裏付けられた生産技術を身に付け、時代の変化に対応した先端的な生産技術を取り入れながら農林業経営を実践できる人材を育成する。
マーケティングや政策などの知見や国内外への広い視野を持ち、グローバルに物事を考え、加工・販売などの経営の多角化に必要な基礎的な知識を身に付けた人材を育成する。
- (2) 地域をけん引できる人材
専門分野に留まらない知識・教養に加え、柔軟な発想と応用力によって課題の解決策を提案できる力を身に付け、地域をけん引できる素養を身に付けた人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力】

- (1) 東北・山形の地域性について理解するとともに、専門分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力及び様々な文化や考え方を理解する能力を有している。
- (2) 農業の生産管理に関する知識や技術を有している。
- (3) 我が国はもとより、農業に関連する世界の情勢を見据えて農業を実践していく基礎を修得し、その上に、農業の経営管理に関する知識や技術を有している。
- (4) 持続可能な地域づくりに向け、地域の関係者と農山村地域が抱える諸課題の解決などについて真摯に議論を交わすことができる。
- (5) 農業に関連する他分野の知識を融合又は展開することにより、農業を起点とした新たな事業展開を図るために必要な柔軟な発想力や応用力を身に付けている。
- (6) 修得した知識と技術を駆使して農業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現し、課題の解決策を提案できる能力を有している。

科目	教育課程								ディプロマ・ポリシーとの対応																		
	1年		2年		3年		4年		1	2	3	4	5	6													
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																			
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性(4単位) ●山形・東北の風土・伝統文化 2				●哲学と東北 2																						
	■コミュニケーション能力(6単位) (自)英語基礎 2 ●ビジネス英語Ⅰ 2 ●コミュニケーション論 2		●ビジネス英語Ⅱ 2																								
基礎科目 (20単位)	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位) ●スポーツ 1		●SDGsと倫理 2 2単位を選択 ○気象・気候学概論 2 ○統計学 2		●情報活用 1																						
			2単位を選択 ○政治学概論 2 ○社会学概論 2 ○法律学概論 2		●経済学入門 2																						
職業専門科目 (79単位)	■生産技術・理論(30単位) ●土壌・肥料学 2 ●農業概論 4 ●耕畜連携論 1		●農業概論演習 2 2単位を選択 ○植物保護学 2 ○家畜衛生学 2		●先端農業技術論 1																						
	●圃場実習Ⅰ 8		2単位を選択 ○栽培各論(稲作) 2 ○栽培各論(果樹) 2 ○栽培各論(野菜・花き) 2 ○飼育各論(畜産) 2		8単位を選択 ○圃場実習Ⅱ(稲作) 8 ○圃場実習Ⅱ(果樹) 8 ○圃場実習Ⅱ(野菜・花き) 8 ○圃場実習Ⅱ(畜産) 8																						
	■経営全般(43単位) ●農業実地体験実習 1		●SDGsと農業・森林業 2 ●臨地実務実習Ⅰ(生産管理等) 8 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林業実習 2 ●農業生産工程・食品衛生論 2		●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2		●マーケティング論 2 ●農業経営分析・計画 2 ●税制・簿記論 1 ●臨地実務実習Ⅱ(経営管理等) 8 どちらか1つの履修時期を選択 (自)国際農業・森林業実習 2 ●農業知的財産論 2		●簿記各論 1 ●臨地実務実習Ⅲ(経営総合) 8																		
	■地域課題解決能力(6単位)		2単位を選択 ○東北の稲作 2 ○東北の果樹 2 ○東北の野菜・花き 2 ○東北の畜産 2		●農山村活性化論 2 ●農山村活性化論演習 2																						
展開科目 (24単位)	■応用的・創造的能力(24単位) 講義(必修:2年後期、選択:1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位、実習(3年通年):2単位 ※講義12単位と演習・実習12単位を選択																										
	○デザイン論(複数年度履修)		○デザイン論演習(複数年度履修)		○金融論(複数年度履修)		○金融論演習(複数年度履修)		○英語学・英語学演習(複数年度履修)		○英語学・英語学演習(複数年度履修)		○建築学(複数年度履修)		○建築学演習(複数年度履修)		○社会学概論(複数年度履修)		○社会学概論演習(複数年度履修)		○農業学(複数年度履修)		○農業学演習(複数年度履修)		○東北・山形 総合学(複数年度履修)		○山形・東北 総合学演習(複数年度履修)
総合科目 (4単位)	■総合的能力(4単位)								●経営分析・計画演習 4																		

卒業単位:127単位

【凡例】	「教育課程」欄	「ディプロマ・ポリシーとの対応」欄	
●	: 必修科目	○	: 関連する科目
○	: 選択科目		
(自)	: 自由科目		

森林業経営学科の「カリキュラム・マップ」とディプロマ・ポリシーとの関連

【養成する人材像】
 (1) 国際情勢など時代の変化に対応した経営戦略を構築できる人材
 理論に裏付けられた生産技術を身に付け、時代の変化に対応した先端的な生産技術を取り入れながら農業経営を実践できる人材を育成する。
 マーケティングや政策などの知見や国内外への広い視野を持ち、グローバルに物事を考え、加工・販売などの経営の多角化に必要な基礎的な知識を身に付けた人材を育成する。
 (2) 地域をけん引できる人材
 専門分野に留まらない知識・教養に加え、柔軟な発想と応用力によって課題の解決策を提案できる力を身に付け、地域をけん引できる素養を身に付けた人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力】
 (1) 東北・山形の地域性について理解するとともに、専門分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力及び様々な文化や考え方を理解する能力を有している。
 (2) 森林資源の生産管理に関する知識や技術を有している。
 (3) 我が国はもとより、森林業に関する世界の情勢を見据えて森林業を実践していく基礎を修得し、その上に、森林業の経営管理に関する知識や技術を有している。
 (4) 持続可能な地域づくりに向け、地域の関係者と農山村地域が抱える課題の解決などについて真摯に議論を交わすことができる。
 (5) 森林業に関連する他分野の知識を融合又は展開することにより、森林を起点とした新たな森林業の事業展開を図るために必要な柔軟な発想力や応用力を身に付けている。
 (6) 修得した知識と技術を駆使して森林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現し、課題の解決策を提案できる能力を有している。

科目	教育課程										ディプロマ・ポリシーとの対応					
	1年		2年		3年		4年		1	2	3	4	5	6		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性(4単位) ●山形・東北の風土・伝統文化 2				●哲学と東北 2				○							
	■コミュニケーション能力(6単位) (自)英語基礎 2 ●ビジネス英語Ⅰ 2 ●コミュニケーション論 2		●ビジネス英語Ⅱ 2						○	○						
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位) ●スポーツ 1 ●SDGsと倫理 2 2単位を選択 ○気象・気候学概論 2 ○統計学 2		●情報活用 1 2単位を選択 ○政治学概論 2 ○社会学概論 2 ○法律学概論 2		●経済学入門 2				○	○	○	○	○	○	○	
職業専門科目 (84単位)	■生産技術・理論(32単位) ●森林土壌・樹木学 2 ●非木材森林産品概論 1 ●造林学 2 ●森林保護学 2 ●森林生産学 2 ●森林保全学 2 ●森林労働安全衛生論 1 ●演習林実習Ⅰ 8		●測量学 2 ●森林情報学 1 ●演習林実習Ⅱ 8		●先端森林業技術論 1				○	○	○	○	○	○	○	
	■経営全般(46単位) ●森林業実地体験実習 1		●SDGsと農業・森林業 2 ●臨地実務実習Ⅰ(生産管理等) 8 ●国際森林業論 1 ●木質科学概論 2 ●木材利活用論 2		●森林環境政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●森林経営管理論 2 ●臨地実務実習Ⅱ(経営管理等) 8 ●木材加工・販売実習 2		●マーケティング論 2 ●森林業経営分析・計画 2 ●税制・簿記論 1 ●簿記各論 1 ●臨地実務実習Ⅲ(経営総合) 8		○	○	○	○	○	○	○	
	■地域課題解決能力(6単位)		講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択 2単位を選択 ○東北の森林資源管理 ○東北の森林資源利活用		●農山村活性化論 2 ●農山村活性化論演習 2				○	○	○	○	○	○	○	
展開科目 (24単位)	■応用的・創造的能力(24単位) 講義(必修:2年前期、選択:1~4年前期):2単位、演習(必修:2年後期、選択:1~4年後期):2単位 ※講義12単位と演習・実習12単位を選択 ●森林生産コース専攻特選講義 ●森林経営コース専攻特選講義															
	○デザイン論(偶数年定期講義)	○デザイン・総論(偶数年定期講義)	○金融論(奇数年定期講義)	○金融概論(奇数年定期講義)	○統計学・経済学(偶数年定期講義)	○統計学・経営学(偶数年定期講義)	○建築学(奇数年定期講義)	○建築学演習(奇数年定期講義)	○社会福祉論(偶数年定期講義)	○社会福祉論演習(偶数年定期講義)	○実業学(奇数年定期講義)	○実業学演習(奇数年定期講義)	○東北・東北職科大学(偶数年定期講義)	○東北・東北職科大学演習(偶数年定期講義)	○	○
総合科目 (4単位)	■総合的能力(4単位)										●経営分析・計画演習 4 ○					

卒業単位:132単位

【凡例】
 「教育課程」欄 「ディプロマ・ポリシーとの対応」欄
 ● : 必修科目 ○ : 関連する科目
 ○ : 選択科目
 (自) : 自由科目

「経営分析・計画演習」(卒業研究)の実施計画

1 全体スケジュール

時期	項目	内容
3年次 11月～	指導教員の選定	それまでの臨地実務実習での取組状況から、学生が演習テーマとして取り組みたい内容を考慮し、指導教員を決定する。
3年次 12月～3月	テーマ及び内容の協議・決定	学生、指導教員及び4年次の臨地実務実習候先補の3者で協議し、3月までに演習テーマ及び内容を決定する。
4年次7月	中間発表会の開催	学生及び指導教員に向けて、前期で取り組んだ演習結果を発表する。
4年次12月	臨地実務実習Ⅲ報告会の開催	臨地実務実習指導者及び指導教員に向けて、経営計画・戦略を発表する(臨地実務実習Ⅲの報告会として開催)。
4年次12月	卒業論文発表会の開催	学生及び指導教員に向けて、演習結果を取りまとめた経営計画・戦略(卒業論文)を発表する。
4年次1月	卒業論文の提出	「経営計画発表会」及び「卒業論文発表会」での議論等を踏まえた修正を行い、卒業論文を提出する。

2 指導体制と演習内容

学外実習運営委員会において学生ごとに指名される指導教員チームが中心となって経営計画・分析演習の指導にあたる。

農業経営学科にあつては、4年次の臨地実務実習先における生産技術又は農業経営を題材として、それらの改善・解決、もしくは新規提案による経営戦略の展開方向について分析・考察し、今後の経営計画等を作成する。

森林業経営学科にあつては、4年次の臨地実務実習先における経営や事業内容を題材として、森林資源の管理や森林資源の利活用に関する実践的課題について分析・考察し、持続的な森林資源の管理や森林資源の利活用に向けた計画等を作成する。

3 成績評価方法

・基準

- (1) 臨地実務実習先等の技術もしくは経営上の課題について説明できる。
- (2) 臨地実務実習先等の技術もしくは経営上の課題を把握して討議することができる。
- (3) 卒業論文を作成していくための手法や表現方法を披露することができる。

・方法

指導教員が卒業論文作成(80%)、研究発表(20%)として上記の習熟度を評価する。

「農山村活性化論演習」におけるフィールドワークの実施時期及び方法、評価方法

1 フィールドワークの実施時期

「農山村活性化論演習」では、第1～3回をガイダンスや事前準備、第4回以降をフィールドワークとしている。このため、4月から6月上旬までに第1～3回を行い、6月中旬からフィールドワークを開始する。

実施地域住民の負担を考慮して、フィールドワークは6月から12月までの期間で1か月最大でも2回までの実施とする。

2 班体制、引率教員と移動方法

農業経営学科は8名×4班体制で、森林業経営学科は8名×1班体制で実施する。各班に1名以上の教員により引率し、移動は専門職大学が所有する公用車（10人乗り×2台、5人乗り×4台）を用いる。

3 フィールドワークを行う地域の選定方法

フィールドワークは、キャンパスからの移動距離を考慮して、山形県最上総合支庁管内（新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村）もしくは隣接する山形県村山総合支庁北村山振興局管内（村山市、東根市、尾花沢市、大石田町）での実施を基本とする。なお、当該管内のみでフィールドワークを実施できる地域が確保できない場合は、隣接する山形県庄内総合支庁管内及び山形県村山総合支庁管内も含めて選定する。

担当教員は、4月から6月までの期間で、山形県各総合支庁と連携して、農山村地域等で地域の活性化や課題解決に向けた取組みを希望する地域を中心に選定する。

4 成績評価方法

・基準

- (1) 地域の課題について説明できる。
- (2) 地域の課題を把握して討議することができる。
- (3) 地域での討議の内容を表現することができる。

・方法

レポート作成（70%）、小テスト（20%）、履修態度（10%）

【履修モデル】農業経営学科(稲作を主体とする経営) 【凡例】●:必修科目、○:選択科目、(自):自由科目

科目	教育課程								科目区分別 単位数	
	1年	2年	3年	4年	前期	後期	前期	後期		
基礎科目 (20単位)	地域等の特性 ●山形・東北の風土・伝統文化 2 コミュニケーション能力 (自)英語基礎 (2) コミュニケーション論 2 一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報) ●スローテック 1 ●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	ビジネス英語Ⅰ 2 ●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2	4
	生産理論・技術 ●土壌・肥料学 2 ●農業概論 4 ●耕畜運搬論 1 ●圃場実習Ⅰ 8 経営全般	●農業概論 2 ○植物保護学 2 ●圃場実習Ⅰ 8	●先端農業技術論 1 ○栽培各論(稲作) 2 ○圃場実習Ⅱ(稲作) 8	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	6
職業専門 科目 (79単位)	●農業地体験実習 1	●農業地体験実習Ⅰ(生産管理等) 8 ○国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習 (2)	●SDGsと農業・森林業 2 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習 (2)	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経済学 2	43
	地域課題解決能力	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の稲作 2	6
展開科目 (24単位)	応用的・創造的能力 ○デザイン論Ⅰ 2 ○デザイン論演習 2	○金融論 2 ●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	○金融論 2 ●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	●食品製造・販売 2 ○金融論演習 2	24
	総合的能力	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	●経営分析・計画演習 4	4
セメスター別 単位数	18.5	16.5	19	20	18	14	11	10	127	

【履修モデル】農業経営学科(果樹を主体とする経営) 【凡例】●:必修科目、○:選択科目、(自):自由科目

科目	教育課程								科目区分別 単位数
	1年		2年		3年		4年		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性 ●山形・東北の風土・伝統文化 2 ■コミュニケーション能力 ●コミュニケーション論 2	●ビジネス英語 I 2	●ビジネス英語 II 2	●哲学と東北 2					4
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報) ○気象・気候学概論 2 ○スポーツ 1	●SDGsと倫理 2 ○気象・気候学概論 2	●情報活用 1 ○社会学概要 2	●経済学入門 2					6
	■生産理論・技術 ●土壌・肥料学 2 ●農業概論 4 ●精密運搬論 1	●農業概論演習 2 ○植物保護学 2	●先端農業技術論 1 ○栽培各論(果樹) 2 ○圃場実習 II(果樹) 8						10
	■経営全般 ●圃場実習 I 8								30
職業専門 科目 (79単位)					●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経営分析・計画 2	●マーケティング論 2 ●農業経営分析・計画 2 ●税制・簿記論 1 ●臨地実務実習 II(経営管理等) 8 (自)国際農業・森林業実習 (2)	●簿記各論 1 ●臨地実務実習 III(経営総合) 8		43
展開科目 (24単位)	■地域課題解決能力 ○デザイン論 2 ○発酵・醸造学 2	●農業生産工程・食品衛生論 2 ○東北の果樹 2	●SDGsと農業・森林業 2 ●臨地実務実習 I(生産管理等) 8 ●国際農業論 1	●農業学的財産論 1		●農山村活性化論 2 ●農山村活性化論演習 2			6
	■応用的・創造的能力 ○デザイン論 2 ○発酵・醸造学 2	○デザイン論演習 2 ○発酵・醸造学演習 2	●食品製造・販売 2 ○栄養学演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論演習 2	○山形・東北観光学 2	○山形・東北観光学演習 2		24
総合科目 (4単位)	■総合的能力							●経営分析・計画演習 4	4
セメスター別 単位数	20.5	18.5	19	20	20	16	9	8	127

【履修モデル】農業経営学科(野菜及び花きを主体とする経営) 【凡例】●:必修科目、○:選択科目、(自):自由科目

科目	教育課程								科目区分別 単位数		
	1年	2年	3年	4年	前期	後期	前期	後期			
基礎科目 (20単位)	前期 単位 ■地域等の特性 ●山形・東北の風土・伝統文化 2 ■コミュニケーション能力 ●コミュニケーション論 2 ●コミュニケーション能力 2 ■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報) ●スポーツ 1 ●SDGsと倫理 2 ○気象・気候学概論 2 ■生産理論・技術 ●土壌・肥料学 2 ●産業概論 4 ●生産概論 1 ●畜産連携論 1 ●圃場実習 I 8 ■経営全般	後期 単位 ●ビジネス英語 I 2 ●ビジネス英語 II 2 ●情報活用 1 ○社会学概論 2 ●経済学入門 2 ●先端農業技術論 1 ●SDGsと農業・森林業 2 ○栽培各論(野菜・花き) 2 ○圃場実習 II(野菜・花き) 8	前期 単位 ●哲学と東北 2	後期 単位 ●マーケティング論 2 ●農業経営分析・計画 2 ●農業経営学 2 ●税制・簿記論 1 ●臨時実務実習 II(経営管理等) 8	前期 単位 ●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経営学 2 ●SDGsと農業・森林業 2 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2 ●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●農学知財産論 1	後期 単位 ●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	前期 単位 ●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	後期 単位 ●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	前期 単位 ●臨時実務実習 III(経営総合) 8	後期 単位 ●臨時実務実習 III(経営総合) 8	4
職業専門 科目 (79単位)	●農業実地体験実習 1	●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2	●農業政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●農業経営学 2 ●SDGsと農業・森林業 2 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2 ●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●農学知財産論 1	●マーケティング論 2 ●農業経営分析・計画 2 ●農業経営学 2 ●税制・簿記論 1 ●臨時実務実習 II(経営管理等) 8	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●臨時実務実習 III(経営総合) 8	●臨時実務実習 III(経営総合) 8	43
展開科目 (24単位)	応用的・創造的能力 ○養蜂学・醸造学 2 ○デザイン論 2	●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2	●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2	●マーケティング論 2 ●農業経営分析・計画 2 ●農業経営学 2 ●税制・簿記論 1 ●臨時実務実習 II(経営管理等) 8	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●臨時実務実習 III(経営総合) 8	●臨時実務実習 III(経営総合) 8	6
総合科目 (4単位)	総合的能力 ○デザイン論 2	●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2	●臨時実務実習 I(生産管理等) 8 ●国際農業論 1 (自)国際農業・森林実習(2) ●農業生産工程・食品衛生論 2	●マーケティング論 2 ●農業経営分析・計画 2 ●農業経営学 2 ●税制・簿記論 1 ●臨時実務実習 II(経営管理等) 8	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●食品製造・販売実習 2 ○社会福祉論 2 ○社会福祉論演習 2	●臨時実務実習 III(経営総合) 8	●臨時実務実習 III(経営総合) 8	4
セメスター別 単位数	20.5	18.5	19	20	14	18	14	8	127		

【履修モデル】農業経営学科(畜産を主体とする経営) 【凡例】●:必修科目、○:選択科目、(自):自由科目

科目	教育課程								科目区分別 単位数	
	1年		2年		3年		4年			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性 ●山形・東北の風土・伝統文化 2						●哲学と東北 2			4
	■コミュニケーション能力 (自)英語基礎 (2) ●コミュニケーション論 2	●ビジネス英語Ⅰ 2								6
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報) ●スポーツ 1	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2								10
	■生産理論・技術 ●土壌・肥料学 2 ●農業概論 4 ●耕畜連携論 1	●農業概論演習 2 ○畜産衛生学 2								30
	■経営全般 ●農場実習Ⅰ 8									8
職業専門 科目 (79単位)										43
										8
展開科目 (24単位)										6
										24
総合科目 (4単位)										4
										4
セメスター別 単位数	18.5	16.5	19	20	18	14	11	10		127

【履修モデル】森林業経営学科(森林資源管理を主体とする経営) 【凡例】●:必修科目、○:選択科目、(自):自由科目

科目	教育課程												科目区分別 単位数	
	1年		2年		3年		4年		前期	後期	単位	後期		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	後期	単位	後期	単位	
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性 ●山形・東北の風土・伝統文化 2													
	■コミュニケーション能力 (自)英語基礎 (2) ●コミュニケーション論 2	●ビジネス英語 I 2												
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報) ●スポーツ 1	●SDGsと倫理 2 ○気象・気候学概論 2	●情報活用 1 ○法律学概論 2											
	■生産理論・技術 ●森林土壌・樹木学 2 ●造林学 2 ●森林生産学 2 ●森林労働安全衛生論 1	●非木材森林産品概論 1 ●森林保護学 2 ●森林保全学 2	●測量学 2 ●森林情報学 1	●先端森林業技術論 1										
職業専門 科目 (84単位)	■経営全般	●演習林実習 I 8	●演習林実習 II 8											
	●森林業地体験実習 1													
	●SDGsと農業・森林業 2													
	●SDGsと生産管理(等) 8 ●国際森林業論 1 (自)国際農業・森林業実習 (2) ●木材利活用論 2													
■地球課題解決能力		○東北の森林資源管理 2												
展期科目 (24単位)	■応用的・創造的能力	●森林生態系サービス産業利用論 2	○デザイン論 2 ●建築学演習 2	○デザイン論 2 ○社会福祉論 2	○デザイン論演習 2 ○社会福祉論演習 2	○山形・東北観光学 2 ○金融論 2	○山形・東北観光学演習 2 ○金融論演習 2							
	■総合的能力													
総合科目 (4単位)														
セメスター別 単位数	16.5	15.5	23	21	19	16	11	10					132	

【履修モデル】森林業経営学科(森林資源利活用を主体とする経営) 【凡例】●:必修科目、○:選択科目、(自):自由科目

科目	教育課程												科目区分別 単位数	
	1年			2年			3年			4年				
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	後期	単位
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性 ●山形・東北の風土・伝統文化 2						●哲学と東北 2							
	■コミュニケーション能力 (自)英語基礎 (2) ●コミュニケーション論 2	●ビジネス英語I 2		●ビジネス英語II 2										
職業専門 科目 (84単位)	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報) ●スポーツ 1	●SDGsと倫理 2 ○統計学 2		●情報活用 1 ○社会学概論 2		●経済学入門 2								
	■生産理論・技術 ●森林土壌・樹木学 2 ●造林学 2 ●森林生産学 2 ●森林労働安全衛生論 1	●非木材森林産品概論 1 ●森林保護学 2 ●森林保全学 2		●測量学 2 ●森林情報学 1 ●演習林実習II 8										
展開科目 (24単位)	■経営全般	●森林業地体験実習 1		●SDGsと農業・森林業 2 ●国際森林業論 1		●木材加工・販売実習 2		●森林環境政策 2 ●組織マネジメント論 2 ●森林経営管理学 2		●マーケティング論 2 ●森林業経営分析・計画 2 ●税制・簿記論 1 ●臨地実務実習III(経営総合) 8				
	■地域課題解決能力			●木質科学概論 2		●木材利用論 2		●SDGsと農業・森林業 2 ●国際森林業論 1		●SDGsと農業・森林業 2 ●国際森林業論 1				
総合科目 (4単位)	■応用的・創造的能力			○東北の森林資源利活用 2				●農山村活性化論 2 ●農山村活性化論演習 2		●農山村活性化論 2 ●農山村活性化論演習 2				
	■総合的能力			●森林生態系サービス健全利用演習 2 ○金融論 2		●金融論演習 2		○デザイン論 2 ○デザイン論演習 2		○デザイン論 2 ○デザイン論演習 2		○建築学 2 ○山形・東北観光学 2	○建築学演習 2 ○山形・東北観光学演習 2	
セメスター別 単位数	16.5	15.5	23	21	17	14	13	12	4	132				

山形県立農林大学校「稲作経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門職大学 農林業経営学部 農業経営学科				山形県立農林大学校 養成部 稲作経営学科					
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	授業科目の名称	単位数	認定		
		必修	選択				読替えの可否	認定単位数	
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2					1前	
		哲学と東北	2					3前	
		コミュニケーション論	2					1前	
	コミュニケーション能力	ビジネス英語 I	2					1後	
		ビジネス英語 II	2					2前	
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1						1前
		SDGsと倫理	2						1後
		気象・気候学概論		2					1後
		統計学			2				1後
		情報活用	1						2前
政治学概論				2				2前	
社会学概論				2				2前	
法律学概論				2				2後	
経済学入門	2						2後		
小計		16	4						
職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2					1前	
		農業概論	4					1前	
		耕畜連携論	1						1前
		農業概論演習	2						1後
		植物保護学		2					1後
		家畜衛生学			2				1後
		圃場実習 I	8						1通
		先端農業技術論	1						2後
		栽培各論(稲作)		2					2通
		栽培各論(果樹)							2通
	栽培各論(野菜・花き)							2通	
	飼育各論(畜産)							2通	
	圃場実習 II(稲作)			8				2通	
	圃場実習 II(果樹)							2通	
	圃場実習 II(野菜・花き)							2通	
	圃場実習 II(畜産)							2通	
	農業実地体験実習	1						1通	
	農業生産工程・食品衛生論	2						2前	
	SDGsと農業・森林業	2						2後	
	国際農業論	1						2後	
	臨地実務実習 I(生産管理等)	8						2通	
	農業政策	2						3前	
	組織マネジメント論	2						3前	
	農業経済学	2						3前	
	農業的財産論	1						3前	
	経営全般	マーケティング論	2						3後
		農業経営分析・計画	2						3後
税制・簿記論		1						3後	
臨地実務実習 II(経営管理等)		8						3通	
簿記各論		1						4前	
臨地実務実習 III(経営総合)		8						4通	
東北の稲作			2					2通	
東北の果樹								2通	
東北の野菜・花き								2通	
東北の畜産								2通	
地域課題解決能力	農山村活性化論	2						3通	
	農山村活性化論演習	2						3通	
	小計	65	14						
	応用的・創造的能力	食品製造・販売	2						2後
		食品製造・販売実習	2						3通
デザイン論								1・2・3・4前	
金融論			10					1・2・3・4前	
発酵学・醸造学								1・2・3・4前	
建築学								1・2・3・4前	
社会福祉論								1・2・3・4前	
栄養学								1・2・3・4前	
山形・東北観光学								1・2・3・4前	
デザイン論演習								1・2・3・4後	
金融論演習								1・2・3・4後	
発酵学・醸造学演習								1・2・3・4後	
建築学演習								1・2・3・4後	
社会福祉論演習								1・2・3・4後	
栄養学演習								1・2・3・4後	
山形・東北観光学演習								1・2・3・4後	
小計		4	20						
総合科目	総合的能力 経営分析・計画演習	4						4通	
小計	4	0							
合計		89	38						
山形県立農林大学校 養成部 稲作経営学科				山形県立農林大学校 養成部 稲作経営学科					
授業科目の名称	単位数	認定							
		読替えの可否	認定単位数						
英語 I	2	○							
英語 II	1	○	2						
応用英語 I	1	○							
英会話 I	2	○							
英会話 II	2	○	2						
応用英語 II	1	○							
体育 I	2	○	1						
体育 II	2	○							
小計	13		5						
土壌肥料	2	○	2						
植物育種	1	○							
水稲生理	1	○							
水稲栽培 I	3	○	4						
畑作物栽培	1	○							
水稲栽培 II	2	○							
耕畜連携	1	○	1						
農林業生産概論	1	○							
植物育種	1	○							
水稲生理	1	○							
水稲栽培 I	3	○	2						
畑作物栽培	1	○							
水稲栽培 II	2	○							
作物病害虫防除	1	○	2						
作物総合防除	1	○							
稲作生産販売実習 I	12	○							
農業機械実習 I	1	○	8						
農業機械実習 II	1	○							
スマート農業 I	2	○	1						
スマート農業 II	1	○							
植物育種	1	○							
水稲生理	1	○							
水稲栽培 I	3	○	2						
畑作物栽培	1	○							
水稲栽培 II	2	○							
稲作生産販売実習 II	15	○	8						
先進農業者等体験学習	4	○	1						
農林業生産概論	1	○	2						
農林業・環境・GAP講座	1	○							
農林業への県民理解	1	○	2						
環境保全と農業	1	○							
海外農林業	1	○	1						
稲作生産販売実習 I	12	○							
稲作生産販売実習 II	15	○	8						
先進農業者等体験学習	4	○							
マーケティング基礎	1	○							
マーケティング実践	1	○	2						
販売管理	2	○							
農業簿記 I	1	○	1						
農業簿記 II	1	○							
農業簿記 II	1	○	1						
財務管理	2	○							
水稲栽培 I	3	○	2						
稲作経営	2	○							
小計	116		50						
小計	0		0						
合計	129		55						

山形県立農林大学校「果樹経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門職大学 農林業経営学部 農業経営学科				山形県立農林大学校 養成部 果樹経営学科				
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	授業科目の名称	単位数	認定	
		必修	選択				読替えの可否	認定単位数
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2					
		哲学と東北	2					
		コミュニケーション論	2					
	コミュニケーション能力	ビジネス英語 I	2			英語 I	2	○
		ビジネス英語 II	2			英語 II	1	○
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1			応用英語 I	1	○
		SDGsと倫理	2			英会話 I	2	○
		気象・気候学概論		2		英会話 II	2	○
		統計学				応用英語 II	1	○
		情報活用	1			体育 I	2	○
		政治学概論				体育 II	2	○
		社会学概論		2				
	法学概論							
	経済学入門	2						
	小計	16	4					
生産理論・技術	土壌・肥料学	2			土壌肥料	2	○	
	農業概論		4		植物育種	1	○	
		耕畜連携論	1			果樹作物生理	1	○
	農業概論演習		2		果樹栽培 I	4	○	
		植物保護学				果樹先進技術論	2	○
	家畜衛生学		2		果樹栽培 II	4	○	
	圃場実習 I	8			園芸施設利用	1	○	
	先端農業技術論	1			農林業生産概論	1	○	
	栽培各論(稲作)				植物育種	1	○	
		栽培各論(果樹)		2		果樹作物生理	1	○
	栽培各論(野菜・花き)				果樹栽培 I	4	○	
	飼育各論(畜産)				果樹先進技術論	2	○	
	圃場実習 II(稲作)				果樹栽培 II	4	○	
	圃場実習 II(果樹)				園芸施設利用	1	○	
圃場実習 II(野菜・花き)		8		作物病害虫防除	1	○		
圃場実習 II(畜産)				果樹病害虫	1	○		
農業実地体験実習	1			果樹生産販売実習 I	11	○		
農業生産工程・食品衛生論	2			農業機械実習 I	1	○		
SDGsと農業・森林業	2			農業機械実習 II	1	○		
国際農業論	1			スマート農業 I	2	○		
臨地実務実習 I(生産管理等)	8			スマート農業 II	1	○		
経営全般	農業政策	2			植物育種	1	○	
	組織マネジメント論	2			果樹作物生理	1	○	
	農業経済学	2			果樹栽培 I	4	○	
	農業知的財産論	1			果樹先端技術論	2	○	
	マーケティング論	2			温暖化対応果樹栽培技術論	1	○	
	農業経営分析・計画	2			果樹栽培 II	4	○	
	税制・簿記論	1			園芸施設利用	1	○	
	臨地実務実習 II(経営管理等)	8						
	簿記各論	1			果樹生産販売実習 II	14	○	
	臨地実務実習 III(経営総合)	8						
	東北の稲作				先進農業者等体験学習	4	○	
	東北の果樹		2		農林業生産概論	1	○	
	東北の野菜・花き				農林業・環境・GAP講座	1	○	
	東北の畜産				農林業への県民理解	1	○	
農山村活性化論	2			環境保全と農業	1	○		
農山村活性化論演習	2			海外農林業	1	○		
小計	65	14		果樹生産販売実習 I	11	○		
				果樹生産販売実習 II	14	○		
				先進農業者等体験学習	4	○		
展開科目	食品製造・販売	2			マーケティング基礎	1	○	
	食品製造・販売実習	2			マーケティング実践	1	○	
	デザイン論		10		販売管理	2	○	
	金醸論				農業簿記 I	1	○	
	発酵学・醸造学				農業簿記 II	1	○	
	建築学				農業簿記 II	1	○	
	社会福祉論				財務管理	2	○	
	栄養学				果樹マーケティング演習 I	2	○	
	山形・東北観光学				果樹栽培 II	4	○	
	デザイン論演習				果樹マーケティング演習 II	1	○	
	金醸論演習							
	発酵学・醸造学演習							
	建築学演習							
	社会福祉論演習							
栄養学演習								
山形・東北観光学演習								
小計	4	20						
総合的能力	経営分析・計画演習	4						
小計		4	0					
合計		89	38					
					小計	129	49	
					合計	142	54	

山形県立農林大学校「野菜経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門職大学 農林業経営学部 農業経営学科				山形県立農林大学校 養成部 野菜経営学科					
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	授業科目の名称	単位数	認定		
		必修	選択				読替えの可否	認定単位数	
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2						
	コミュニケーション能力	哲学と東北	2						
		コミュニケーション論	2						
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)	ビジネス英語 I	2			英語 I	2	○	2
		ビジネス英語 II	2			英語 II	1	○	
		スポーツ	1			応用英語 I	1	○	
		SDGsと倫理	2			英会話 I	2	○	
		気象・気候学概論		2		英会話 II	2	○	2
		統計学		1		応用英語 II	1	○	
		情報活用	1			体育 I	2	○	1
		政治学概論		2		体育 II	2	○	
	社会学概論		2						
	法学概論		2						
	経済学入門	2							
	小計	16	4		小計	13		5	
	生産理論・技術	土壌・肥料学	2			土壌肥料	2	○	2
農業概論		4			植物育種	1	○		
耕畜連携論		1			野菜作物生理	1	○		
農業概論演習		2			野菜栽培 I	4	○	4	
植物保護学			2		野菜先進技術論	3	○		
家畜衛生学			2		野菜栽培 II	4	○		
圃場実習 I		8			園芸施設利用	1	○		
先端農業技術論		1			農林業生産概論	1	○		
栽培各論(稲作)					植物育種	1	○		
栽培各論(果樹)					野菜作物生理	1	○		
栽培各論(野菜・花き)			2		野菜栽培 I	4	○	2	
飼育各論(畜産)					野菜先進技術論	3	○		
圃場実習 II(稲作)					野菜栽培 II	4	○		
圃場実習 II(果樹)					園芸施設利用	1	○		
圃場実習 II(野菜・花き)					作物病害虫防除	1	○	2	
圃場実習 II(畜産)					野菜病害虫	1	○		
農業実地体験実習		1			野菜生産販売実習 I	10	○	8	
農業生産工程・食品衛生論		2			農業機械実習 I	1	○		
SDGsと農業・森林業		2			農業機械実習 II	1	○		
国際農業論		1			スマート農業 I	2	○	1	
臨地実務実習 I(生産管理等)		8			スマート農業 II	1	○		
農業政策	2			植物育種	1	○			
組織マネジメント論	2			野菜作物生理	1	○			
農業経済学	2			野菜栽培 I	4	○	2		
農業知的財産論	1			野菜先進技術論	3	○			
マーケティング論	2			野菜栽培 II	4	○			
農業経営分析・計画	2			園芸施設利用	1	○			
税制・簿記論	1			野菜生産販売実習 II	13	○	8		
臨地実務実習 II(経営管理等)	8			先進農業者等体験学習	4	○	1		
簿記各論	1			農林業生産概論	1	○	2		
臨地実務実習 III(経営総合)	8			農林業・環境・GAP講座	1	○			
東北の稲作				農林業への県民理解	1	○	2		
東北の果樹				環境保全と農業	1	○			
東北の野菜・花き		2		海外農林業	1	○	1		
東北の畜産				野菜生産販売実習 I	10	○	8		
農山村活性化論	2			野菜生産販売実習 II	13	○			
農山村活性化論演習	2			先進農業者等体験学習	4	○			
小計	65	14		マーケティング基礎	1	○	2		
展開科目	食品製造・販売	2			マーケティング実践	1	○		
	食品製造・販売実習	2			販売管理	2	○		
	デザイン論		10		農業簿記 I	1	○	1	
	金融論				農業簿記 II	1	○		
	発酵学・醸造学				農業簿記 II	1	○	1	
	建築学				財務管理	2	○		
	社会福祉論				野菜マーケティング演習 I	2	○		
	栄養学				野菜栽培 II	4	○	2	
	山形・東北観光学				野菜マーケティング演習 II	1	○		
	デザイン論演習				小計	127		49	
	金融論演習								
	発酵学・醸造学演習								
建築学演習									
社会福祉論演習									
栄養学演習									
山形・東北観光学演習									
小計	4	20		小計	0		0		
総合科目	総合的能力	経営分析・計画演習	4						
小計	4	0		小計	0		0		
合計	89	38		合計	140		54		

山形県立農林大学校「花き経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門職大学 農林業経営学部 農業経営学科					
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	
		必修	選択		
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2	1前	
		哲学と東北	2	3前	
		コミュニケーション論	2	1前	
	コミュニケーション能力	ビジネス英語 I	2	1後	
		ビジネス英語 II	2	2前	
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1	1前	
		SDGsと倫理	2	1後	
		気象・気候学概論		2	1後
		統計学		2	1後
		情報活用	1	2前	
		政治学概論		2	2前
		社会学概論		2	2前
		法学概論		2	2前
	経済学入門	2	2後		
		小計	16	4	
生産理論・技術	土壌・肥料学	2	1前		
	農業概論	4	1前		
		耕畜連携論	1	1前	
		農業概論演習	2	1後	
	植物保護学	2	1後		
		家畜衛生学			
	圃場実習 I	8	1通		
	先端農業技術論	1	2後		
	栽培各論(稲作)				
		栽培各論(果樹)			
	栽培各論(野菜・花き)	2	2通		
		飼育各論(畜産)			
	圃場実習 II(稲作)				
	圃場実習 II(果樹)				
	圃場実習 II(野菜・花き)				
	圃場実習 II(畜産)				
	農業実地体験実習	1	1通		
	農業生産工程・食品衛生論	2	2前		
	SDGsと農業・森林業	2	2後		
	国際農業論	1	2後		
	臨地実務実習 I(生産管理等)	8	2通		
	農業政策	2	3前		
	組織マネジメント論	2	3前		
	農業経済学	2	3前		
	農業知的財産論	1	3前		
	マーケティング論	2	3後		
	農業経営分析・計画	2	3後		
	税制・簿記論	1	3後		
	臨地実務実習 II(経営管理等)	8	3通		
	簿記各論	1	4前		
臨地実務実習 III(経営総合)	8	4通			
地域課題解決能力	東北の稲作				
	東北の果樹				
	東北の野菜・花き	2	2通		
	東北の畜産				
	農山村活性化論	2	3通		
農山村活性化論演習	2	3通			
	小計	65	14		
展開科目	食品製造・販売	2	2後		
	食品製造・販売実習	2	3通		
	デザイン論		1・2・3・4前		
	金諭論		1・2・3・4前		
	発酵学・醸造学		1・2・3・4前		
	建築学		1・2・3・4前		
	社会福祉論		1・2・3・4前		
	栄養学		1・2・3・4前		
	山形・東北観光学		1・2・3・4前		
	デザイン論演習		1・2・3・4後		
	金諭論演習		1・2・3・4後		
	発酵学・醸造学演習		1・2・3・4後		
	建築学演習		1・2・3・4後		
	社会福祉論演習		1・2・3・4後		
	栄養学演習		1・2・3・4後		
山形・東北観光学演習		1・2・3・4後			
	小計	4	20		
総合科目	総合的能力	経営分析・計画演習	4	4通	
	小計	4	0		
	合計	89	38		

山形県立農林大学校 養成部 花き経営学科			
授業科目の名称	単位数	認定	
		読替の可否	認定単位数
英語 I	2	○	2
英語 II	1	○	
応用英語 I	1	○	2
英会話 I	2	○	
英会話 II	2	○	1
応用英語 II	1	○	
体育 I	2	○	1
体育 II	2	○	
小計	13		5
土壌肥料	2	○	2
植物育種	1	○	4
花き作物生理	1	○	
花き栽培 I	4	○	
花き先進技術論	3	○	
花き栽培 II	4	○	
園芸施設利用	1	○	
農林業生産概論	1	○	2
植物育種	1	○	
花き作物生理	1	○	
花き栽培 I	4	○	
花き先進技術論	3	○	
花き栽培 II	4	○	
園芸施設利用	1	○	2
作物病害虫防除	1	○	
花き病害虫	1	○	
花き生産販売実習 I	9	○	8
農業機械実習 I	1	○	
農業機械実習 II	1	○	
スマート農林業 I	2	○	1
スマート農林業 II	1	○	
植物育種	1	○	2
花き作物生理	1	○	
花き栽培 I	4	○	
花き先進技術論	3	○	
花き栽培 II	4	○	
園芸施設利用	1	○	
花き生産販売実習 II	12	○	8
先進農業者等体験学習	4	○	1
農林業生産概論	1	○	2
農林業・環境・GAP講座	1	○	
農林業への県民理解	1	○	2
環境保全と農業	1	○	
海外農林業	1	○	1
花き生産販売実習 I	9	○	8
花き生産販売実習 II	12	○	
先進農業者等体験学習	4	○	
マーケティング基礎	1	○	2
マーケティング実践	1	○	
販売管理	2	○	
農業簿記 I	1	○	1
農業簿記 II	1	○	
農業簿記 II	1	○	1
財務管理	2	○	
花きマーケティング演習 I	2	○	2
花き栽培 II	4	○	
花きマーケティング演習 II	1	○	
小計	123		49
小計	0		0
合計	136		54

山形県立農林大学校「畜産経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門職大学 農林業経営学部 農業経営学科				山形県立農林大学校 養成部 畜産経営学科			
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	授業科目の名称	認定	
		必修	選択			単位数	読替えの可否
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2				1前
		哲学と東北	2				3前
		コミュニケーション論	2				1前
	コミュニケーション能力	ビジネス英語 I	2				1後
		ビジネス英語 II	2				2前
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1				1前
		SDGsと倫理	2				1後
		気象・気候学概論		2			1後
		統計学		1			2前
		情報活用		1			2前
政治学概論			2			2前	
社会学概論			2			2後	
経済学入門	2				2後		
小計		16	4				
職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2				1前
		農業概論		4			1前
			耕畜連携論	1			1前
	植物保護学	農業概論演習	2				1後
		家畜衛生学		2			1後
	経営全般	圃場実習 I	8				1通
		先端農業技術論	1				2後
		栽培各論(稲作)		2			2通
		栽培各論(果樹)					
		栽培各論(野菜・花き)					
		飼育各論(畜産)		8			2通
		圃場実習 II(稲作)					
		圃場実習 II(果樹)					
		圃場実習 II(野菜・花き)					
		圃場実習 II(畜産)					
	農業実地体験実習	1				1通	
	農業生産工程・食品衛生論	2				2前	
	SDGsと農業・森林業	2				2後	
	国際農業論	1				2後	
	臨地実務実習 I(生産管理等)	8				2通	
	地域課題解決能力	農業政策	2				3前
		組織マネジメント論	2				3前
		農業経済学	2				3前
		農業知的財産論	1				3前
		マーケティング論	2				3後
		農業経営分析・計画	2				3後
		税制・簿記論	1				3後
		臨地実務実習 II(経営管理等)	8				3通
		簿記各論	1				4前
		臨地実務実習 III(経営総合)	8				4通
応用的・創造的能力	東北の稲作		2			2通	
	東北の果樹						
	東北の野菜・花き						
	東北の畜産						
	農山村活性化論	2				3通	
	農山村活性化論演習	2				3通	
	小計	65	14				
	展開科目	食品製造・販売	2				2後
		食品製造・販売実習	2				3通
		デザイン論		10			1・2・3・4前
金融論							
発酵学・醸造学							
建築学							
社会福祉論							
栄養学							
山形・東北観光学							
デザイン論演習							
金融論演習							
発酵学・醸造学演習							
建築学演習							
社会福祉論演習							
栄養学演習							
山形・東北観光学演習							
小計	4	20					
総合科目	総合的能力	4				4通	
小計	4	0					
合計		89	38				
				127			
				53			

山形県立農林大学校「農産加工経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門学校 農林業経営学部 農産加工経営学科				山形県立農林大学校 養成部 農産加工経営学科					
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	授業科目の名称	単位数	認定		
		必修	選択				読替えの可否	認定単位数	
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前				
		哲学と東北	2		3前				
		コミュニケーション論	2		1前				
	コミュニケーション能力	ビジネス英語Ⅰ	2		1後				
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前				
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1		1前				
		SDGsと倫理	2		1後				
		気象・気候学概論		2	1後				
		統計学		1	2前				
		情報活用	1		2前				
		政治学概論		2	2前				
		社会学概論		2	2前				
		法学概論		2	2後				
		経済学入門	2		2後				
		小計	16	4					
	職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2		1前			
			農業概論	4		1前			
耕畜連携論			1		1前				
農業概論演習			2		1後				
植物保護学				2	1後				
家畜衛生学				2	1後				
圃場実習Ⅰ			8		1通				
先端農業技術論			1		2後				
栽培各論(稲作)				2	2通				
栽培各論(果樹)				2	2通				
栽培各論(野菜・花き)				2	2通				
飼育各論(畜産)				2	2通				
圃場実習Ⅱ(稲作)			2	2通					
圃場実習Ⅱ(野菜・花き)			2	2通					
圃場実習Ⅱ(果樹)			2	2通					
圃場実習Ⅱ(畜産)			2	2通					
経営全般		農業実地体験実習	1		1通				
		農業生産工程・食品衛生論	2		2前				
		SDGsと農業・森林業	2		2後				
		国際農業論	1		2後				
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通				
		農業政策	2		3前				
		組織マネジメント論	2		3前				
		農業経済学	2		3前				
		農業知的財産論	1		3前				
		マーケティング論	2		3後				
		農業経営分析・計画	2		3後				
		税制・簿記論	1		3後				
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通				
		簿記各論	1		4前				
臨地実務実習Ⅲ(経営総合)		8		4通					
地域課題解決能力		東北の稲作		2	2通				
		東北の果樹		2	2通				
		東北の野菜・花き		2	2通				
		東北の畜産		2	2通				
		農山村活性化論	2		3通				
		農山村活性化論演習	2		3通				
		小計	65	14					
総合科目		食品製造・販売		2		2後			
			食品製造・販売実習	2		3通			
		デザイン論	デザイン論		10	1・2・3・4前			
			金融論		10	1・2・3・4前			
			発酵学・醸造学		10	1・2・3・4前			
			建築学		10	1・2・3・4前			
			社会福祉論		10	1・2・3・4前			
			栄養学		10	1・2・3・4前			
	山形・東北観光学			10	1・2・3・4前				
	デザイン論演習			10	1・2・3・4後				
	金融論演習			10	1・2・3・4後				
	発酵学・醸造学演習			10	1・2・3・4後				
	建築学演習			10	1・2・3・4後				
	社会福祉論演習			10	1・2・3・4後				
	栄養学演習		10	1・2・3・4後					
	山形・東北観光学演習		10	1・2・3・4後					
	小計	4	20						
	総合能力	経営分析・計画演習	4		4通				
	小計	4	0						
	合計		89	38					
	127								
	総合科目	食品加工学	食品加工学	1		2			
			農産加工マーケティング	1		2			
		食品衛生学	食品衛生学	1		2			
			食品栄養学	1		2			
			食品産業特別講義	1		2			
			食品保蔵学	1		2			
			食品機能性論	1		2			
			農産加工特産品開発	1		2			
			食品パッケージ論	1		2			
			農産物加工実習Ⅰ	7		2			
			加工品販売流通実習Ⅰ	1		2			
			農産物加工実習Ⅱ	13		2			
			加工品販売流通実習Ⅱ	2		2			
			食品衛生学	食品加工学	1		2		
		地域食料論		2		2			
		農産物加工実習Ⅰ		7		2			
		食品栄養学		1		2			
		食品機能性論		1		2			
		食品保蔵学		1		2			
		食品衛生学	食品保蔵学	1		2			
			地域伝統食品論	1		2			
			農産物加工実習Ⅱ	13		2			
			食品栄養学	1		2			
食品機能性論			1		2				
農産加工マーケティング			1		2				
農産加工特産品開発		1		2					
小計			63		12				
小計			0		0				
合計			128		52				

山形県立農林大学校「林業経営学科」における単位認定読替表

東北農林専門職大学 農林業経営学部 森林業経営学科					
科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	
		必修	選択		
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2	1前	
		哲学と東北	2	3前	
	コミュニケーション能力	コミュニケーション論	2	1前	
		ビジネス英語 I	2	1後	
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	ビジネス英語 II	2	2前	
		スポーツ	1	1前	
		SDGsと倫理	2	1後	
		気象・気候学概論		2	1後
		統計学			
		情報活用	1	2前	
		政治学概論		2	2前
	社会学概論				
	法律学概論				
経済学入門	2	2後			
小計		16	4		
職業専門科目	生産理論・技術	森林土壌・樹木学	2	1前	
		造林学	2	1前	
		森林生産学	2	1前	
		森林労働安全衛生論	1	1前	
		非木材森林産品概論	1	1後	
		森林保護学	2	1後	
		森林保全学	2	1後	
		演習林実習 I	8	1通	
		測量学	2	2前	
		森林情報学	1	2前	
		先端森林業技術論	1	2後	
		演習林実習 II	8	2通	
	経営全般	森林業実地体験実習	1	1通	
		木質科学概論	2	2前	
		SDGsと農業・森林業	2	2後	
		国際森林業論	1	2後	
		木材利活用論	2	2後	
		臨地実務実習 I (生産管理等)	8	2通	
		森林環境政策	2	3前	
		組織マネジメント論	2	3前	
		森林経営管理学	2	3前	
		マーケティング論	2	3後	
		森林業経営分析・計画	2	3後	
		税制・簿記論	1	3後	
	臨地実務実習 II (経営管理等)	8	3通		
	木材加工・販売実習	2	3通		
	簿記各論	1	4前		
	臨地実務実習 III (経営総合)	8	4通		
	地域課題解決能力	東北の森林資源管理		2	2通
		東北の森林資源利活用			
		農山村活性化論	2	3通	
		農山村活性化論演習	2	3通	
	小計		82	2	
展開科目	応用的・創造的能力	森林生態系サービス保全利用論	2	2前	
		森林生態系サービス保全利用論演習	2	2後	
		デザイン論		10	1・2・3・4前
		金融論			1・2・3・4前
		発酵学・醸造学			1・3・4前
		建築学			1・3・4前
		社会福祉論			1・2・3・4前
		栄養学			1・2・3・4前
		山形・東北観光学			1・3・4前
		デザイン論演習		10	1・2・3・4後
		金融論演習			1・2・3・4後
		発酵学・醸造学演習			1・3・4後
		建築学演習			1・3・4後
		社会福祉論演習			1・2・3・4後
		栄養学演習			1・2・3・4後
山形・東北観光学演習			1・3・4後		
小計		4	20		
総合科目	総合的能力 経営分析・計画演習	4	4通		
小計		4	0		
合計		106	26		

山形県立農林大学校 養成部 林業経営学科			
授業科目の名称	単位数	認定	
		読替えの可否	認定単位数
英語 I	2	○	
英語 II	1	○	2
応用英語 I	1	○	
英会話 I	2	○	
英会話 II	2	○	2
応用英語 II	1	○	
体育 I	2	○	1
体育 II	2	○	
小計	13		5
樹木	2	○	
樹木医	2	○	2
森林環境	2	○	
造林・育林 I	2	○	2
造林・育林 II	2	○	
林業機械 I	2	○	
林業機械 II	1	○	
森林計測	1	○	2
林産	2	○	
森林路網	1	○	
労働安全管理と救急救命	2	○	1
林産	2	○	1
樹木医	2	○	
森林保護	1	○	2
森林環境	2	○	
森林生態	1	○	
森林環境	2	○	2
森林機能保全	1	○	
森林管理実習 I	11	○	8
森林計測	1	○	
森林管理実習 I (造林)	5	○	2
森林情報	1	○	1
スマート農業 I	2	○	1
スマート農業 II	1	○	
森林管理実習 II	15	○	8
先進林業者等体験学習	4	○	1
農業・環境・GAP講座	1	○	
農業への県民理解	1	○	2
森林・林業概論	1	○	
森林生態	1	○	
海外農業	1	○	1
森林・林業概論	1	○	
森林管理実習 I	11	○	
森林管理実習 II	15	○	8
先進林業者等体験学習	4	○	
森林経営	2	○	2
マーケティング基礎	1	○	
マーケティング実践	1	○	2
販売管理	2	○	
農業簿記 I	1	○	1
農業簿記 II	1	○	
農業簿記 II	1	○	1
財務管理	2	○	
森林・林業概論	1	○	
森林政策	1	○	2
森林経営	2	○	
森林管理実習 I (林産)	1	○	
小計	122		52
小計	0		0
合計	135		57

編入学の履修モデル表
 (山形県立農林大学校「稲作経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	編入認定単位数	履修年次		備考
		必修	選択			3年次	4年次	
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前		2	
	哲学と東北		2		3前		2	
	コミュニケーション能力	コミュニケーション論	2		1前			2
		ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2		
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2		
		スポーツ	1		1前	1		
		SDGsと倫理	2		1後			2
		気象・気候学概論		2	1後		2	
		統計学						
		情報活用	1		2前			1
政治学概論			2	2前			2	
社会学概論								
法律学概論								
経済学入門	2		2後		2			
	小計	16	4		5	6	9	
職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2		1前	2		
		農業概論	4		1前	4		
		耕畜連携論	1		1前	1		
		農業概論演習	2		1後	2		
		植物保護学		2	1後	2		
		家畜衛生学						
		圃場実習Ⅰ	8		1通	8		
		先端農業技術論	1		2後	1		
		栽培各論(稲作)		2	2通	2		
		栽培各論(果樹)						
	栽培各論(野菜・花き)							
	飼育各論(畜産)							
	圃場実習Ⅱ(稲作)		8	2通	8			
	圃場実習Ⅱ(果樹)							
	圃場実習Ⅱ(野菜・花き)							
	圃場実習Ⅱ(畜産)							
	経営全般	農業実地体験実習	1		1通	1		
		農業生産工程・食品衛生論	2		2前	2		
		SDGsと農業・森林業	2		2後	2		
		国際農業論	1		2後	1		
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8		
		農業政策	2		3前		2	
		組織マネジメント論	2		3前		2	
		農業経済学	2		3前		2	
		農業知的財産論	1		3前		1	
		マーケティング論	2		3後	2		
		農業経営分析・計画	2		3後		2	
		税制・簿記論	1		3後	1		
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8	
	簿記各論	1		4前	1			
	臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通			8	
	地域課題解決能力	東北の稲作		2	2通	2		
		東北の果樹						
		東北の野菜・花き						
		東北の畜産						
農山村活性化論		2		3通		2		
農山村活性化論演習		2		3通		2		
	小計	65	14		50	21	8	
展開科目	応用的・創造的能力	食品製造・販売	2		2後		2	
		食品製造・販売実習	2		3通		2	
		デザイン論		10	1・2・3・4前		2	
		金融論			1・2・3・4前	2		
		発酵学・醸造学			1・2・3・4前		2	
		建築学			1・2・3・4前			
		社会福祉論			1・2・3・4前			
		栄養学			1・2・3・4前		2	
		山形・東北観光学			1・2・3・4前	2		
		デザイン論演習		10	1・2・3・4後		2	
	金融論演習			1・2・3・4後	2			
	発酵学・醸造学演習			1・2・3・4後		2		
	建築学演習			1・2・3・4後				
	社会福祉論演習			1・2・3・4後				
	栄養学演習			1・2・3・4後		2		
山形・東北観光学演習			1・2・3・4後		2			
	小計	4	20		0	10	14	
総合	総合的能力	経営分析・計画演習	4		4通		4	
	小計	4	0		0	0	4	
合計		89	38		55	37	35	※年間の履修単位数は46単位以下
		127				72		

編入学の履修モデル表
 (山形県立農林大学校「果樹経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	編入認定単位数	履修年次		備考	
		必修	選択			3年次	4年次		
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前		2		
		哲学と東北	2		3前		2		
	コミュニケーション能力	コミュニケーション論	2		1前		2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2			
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2			
		スポーツ	1		1前	1			
		SDGsと倫理	2		1後		2		
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)		気象・気候学概論		2	1後		2	
			統計学		2	1後			
			情報活用	1		2前		1	
			政治学概論		2	2前		2	
		社会学概論		2	2前				
		法律学概論		2	2前				
		経済学入門	2		2後		2		
	小計	16	4		5	6	9		
職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2		1前	2			
		農業概論	4		1前	4			
		耕畜連携論	1		1前		1		
		農業概論演習	2		1後	2			
		植物保護学		2	1後	2			
		家畜衛生学		2	1後	2			
		圃場実習Ⅰ	8		1通	8			
		先端農業技術論	1		2後	1			
		栽培各論(稲作)		2	2通	2			
		栽培各論(果樹)		2	2通	2			
		栽培各論(野菜・花き)		2	2通	2			
		飼育各論(畜産)		2	2通	2			
		圃場実習Ⅱ(稲作)		8	2通	8			
	圃場実習Ⅱ(果樹)		8	2通	8				
	圃場実習Ⅱ(野菜・花き)		8	2通	8				
	圃場実習Ⅱ(畜産)		8	2通	8				
	経営全般	農業実地体験実習	1		1通	1			
		農業生産工程・食品衛生論	2		2前	2			
		SDGsと農業・森林業	2		2後	2			
		国際農業論	1		2後	1			
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8			
		農業政策	2		3前		2		
		組織マネジメント論	2		3前		2		
		農業経済学	2		3前		2		
		農業知的財産論	1		3前		1		
		マーケティング論	2		3後	2			
		農業経営分析・計画	2		3後		2		
		税制・簿記論	1		3後	1			
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8		
		簿記各論	1		4前	1			
	臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通			8		
	地域課題解決能力	東北の稲作		2	2通	2			
		東北の果樹		2	2通	2			
東北の野菜・花き			2	2通	2				
東北の畜産			2	2通	2				
農山村活性化論		2		3通		2			
農山村活性化論演習	2		3通		2				
	小計	65	14		49	21	9		
展開科目	応用的・創造的能力	食品製造・販売	2		2後		2		
		食品製造・販売実習	2		3通		2		
		デザイン論		10	1・2・3・4前		2		
		金融論		10	1・2・3・4前			2	
		発酵学・醸造学		10	1・2・3・4前			2	
		建築学		10	1・2・3・4前		2		
		社会福祉論		10	1・2・3・4前			2	
		栄養学		10	1・2・3・4前			2	
		山形・東北観光学		10	1・2・3・4前		2		
		デザイン論演習		10	1・2・3・4後			2	
		金融論演習		10	1・2・3・4後			2	
		発酵学・醸造学演習		10	1・2・3・4後			2	
		建築学演習		10	1・2・3・4後			2	
		社会福祉論演習		10	1・2・3・4後			2	
		栄養学演習		10	1・2・3・4後			2	
		山形・東北観光学演習		10	1・2・3・4後			2	
			小計	4	20		0	10	14
総合	総合的能力	4		4通			4		
	経営分析・計画演習	4		4通			4		
	小計	4	0		0	0	4		
合計		89	38		54	37	36	※年間の履修単位は46単位以下	

編入学の履修モデル表
(山形県立農林大学校「野菜経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	編入認定 単位数	履修年次		備考	
		必修	選択			3年次	4年次		
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前		2		
		哲学と東北	2		3前		2		
	コミュニケーション能力	コミュニケーション論	2		1前		2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2			
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2			
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1		1前	1			
		SDGsと倫理	2		1後		2		
		気象・気候学概論		2	1後		2		
		統計学							
		情報活用	1		2前			1	
		政治学概論						2	
		社会学概論		2	2前				
		法学概論							
	経済学入門	2		2後		2			
	小計	16	4		5	6	9		
職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2		1前	2			
		農業概論	4		1前	4			
		耕畜連携論	1		1前		1		
		農業概論演習	2		1後	2			
		植物保護学		2	1後	2			
		家畜衛生学							
		圃場実習Ⅰ	8		1通	8			
		先端農業技術論	1		2後	1			
		栽培各論(稲作)		2	2通				
		栽培各論(果樹)							
		栽培各論(野菜・花き)				2			
		飼育各論(畜産)							
		圃場実習Ⅱ(稲作)		8	2通				
	圃場実習Ⅱ(果樹)								
	圃場実習Ⅱ(野菜・花き)				8				
	圃場実習Ⅱ(畜産)								
	経営全般	農業実地体験実習	1		1通	1			
		農業生産工程・食品衛生論	2		2前	2			
		SDGsと農業・森林業	2		2後	2			
		国際農業論	1		2後	1			
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8			
		農業政策	2		3前		2		
		組織マネジメント論	2		3前		2		
		農業経済学	2		3前		2		
		農業知的財産論	1		3前		1		
		マーケティング論	2		3後	2			
		農業経営分析・計画	2		3後		2		
		税制・簿記論	1		3後	1			
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8		
		簿記各論	1		4前	1			
		臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通			8	
		地域課題 解決能力	東北の稲作		2	2通			
			東北の果樹						
東北の野菜・花き					2				
東北の畜産									
農山村活性化論	2			3通		2			
農山村活性化論演習	2			3通		2			
	小計	65	14		49	21	9		
展開科目	応用的・創造的能力	食品製造・販売	2		2後		2		
		食品製造・販売実習	2		3通		2		
		デザイン論		10	1・2・3・4前		2		
		金融論			1・2・3・4前	2			
		発酵学・醸造学			1・2・3・4前		2		
		建築学			1・2・3・4前				
		社会福祉論			1・2・3・4前	2			
		栄養学			1・2・3・4前				
		山形・東北観光学			1・2・3・4前		2		
		デザイン論演習		10	1・2・3・4後		2		
		金融論演習			1・2・3・4後	2			
		発酵学・醸造学演習			1・2・3・4後		2		
		建築学演習			1・2・3・4後				
		社会福祉論演習			1・2・3・4後	2			
		栄養学演習			1・2・3・4後				
山形・東北観光学演習			1・2・3・4後		2				
	小計	4	20		0	10	14		
総合	総合的能力	経営分析・計画演習	4		4通		4		
	小計	4	0		0	0	4		
合計		89	38		54	37	36	※年間の履修単位は46単位以下	

127

73

編入学の履修モデル表
 (山形県立農林大学校「花き経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	編入認定単位数	履修年次		備考	
		必修	選択			3年次	4年次		
基礎科目	地域等の特性	2		1前			2		
	哲学と東北	2		3前		2			
	コミュニケーション	2		1前			2		
	コミュニケーション能力	ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2			
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2			
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1		1前	1			
		SDGsと倫理	2		1後		2		
		気象・気候学概論		2	1後				
		統計学							
		情報活用	1		2前			1	
		政治学概論		2	2前			2	
社会学概論									
経済学入門		2		2後		2			
小計	16	4		5	6	9			
職業専門科目	生産理論・技術								
	土壌・肥料学	2		1前	2				
	農業概論	4		1前	4				
	耕畜連携論	1		1前			1		
	農業概論演習	2		1後	2				
	植物保護学		2	1後	2				
	家畜衛生学								
	圃場実習Ⅰ	8		1通	8				
	先端農業技術論	1		2後	1				
	栽培各論(稲作)		2	2通					
	栽培各論(果樹)								
	栽培各論(野菜・花き)				2				
	飼育各論(畜産)								
	圃場実習Ⅱ(稲作)		8	2通					
	圃場実習Ⅱ(果樹)								
	圃場実習Ⅱ(野菜・花き)				8				
	圃場実習Ⅱ(畜産)								
	経営全般	農業実地体験実習	1		1通	1			
		農業生産工程・食品衛生論	2		2前	2			
		SDGsと農業・森林業	2		2後	2			
		国際農業論	1		2後	1			
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8			
		農業政策	2		3前		2		
		組織マネジメント論	2		3前		2		
		農業経済学	2		3前		2		
		農業的財産論	1		3前		1		
		マーケティング論	2		3後	2			
		農業経営分析・計画	2		3後		2		
		税制・簿記論	1		3後	1			
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8		
		簿記各論	1		4前	1			
	臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通			8		
	地域課題解決能力	東北の稲作		2	2通				
東北の果樹									
東北の野菜・花き					2				
東北の畜産									
農山村活性化論		2		3通		2			
農山村活性化論演習	2		3通		2				
小計	65	14		49	21	9			
展開科目	食品製造・販売	2		2後			2		
	食品製造・販売実習	2		3通		2			
	デザイン論		10	1・2・3・4前			2		
	金融論			1・2・3・4前		2			
	発酵学・醸造学			1・2・3・4前			2		
	建築学			1・2・3・4前					
	社会福祉論			1・2・3・4前		2			
	栄養学			1・2・3・4前					
	山形・東北観光学			1・2・3・4前			2		
	デザイン論演習		10	1・2・3・4後			2		
	金融論演習			1・2・3・4後		2			
	発酵学・醸造学演習			1・2・3・4後			2		
	建築学演習			1・2・3・4後					
	社会福祉論演習			1・2・3・4後		2			
	栄養学演習			1・2・3・4後					
山形・東北観光学演習			1・2・3・4後			2			
小計	4	20		0	10	14			
総合	総合的能力	4		4通			4		
小計	4	0		0	0	4			
合計		89	38		54	37	36	※年間の履修単位は46単位以下	
		127				73			

編入学の履修モデル表
 (山形県立農林大学校「畜産経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	編入認定単位数	履修年次		備考	
		必修	選択			3年次	4年次		
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前		2		
		哲学と東北	2		3前		2		
	コミュニケーション能力	コミュニケーション論	2		1前		2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2			
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2			
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	1		1前	1			
		SDGsと倫理	2		1後		2		
		気象・気候学概論		2	1後		2		
		統計学						1	
		情報活用	1		2前			2	
		政治学概論		2	2前				
		社会学概論							
	法律学概論								
	経済学入門	2		2後		2			
	小計	16	4		5	6	9		
職業専門科目	生産理論・技術	土壌・肥料学	2		1前		2		
		農業概論	4		1前	4			
		耕畜連携論	1		1前	1			
		農業概論演習	2		1後	2			
		植物保護学		2	1後				
		家畜衛生学				2			
		圃場実習Ⅰ	8		1通	8			
		先端農業技術論	1		2後	1			
		栽培各論(稲作)		2	2通				
		栽培各論(果樹)							
		栽培各論(野菜・花き)							
		飼育各論(畜産)				2			
	圃場実習Ⅱ(稲作)		8	2通					
	圃場実習Ⅱ(果樹)								
	圃場実習Ⅱ(野菜・花き)								
	圃場実習Ⅱ(畜産)				8				
	経営全般	農業実地体験実習	1		1通	1			
		農業生産工程・食品衛生論	2		2前	2			
		SDGsと農業・森林業	2		2後	2			
		国際農業論	1		2後	1			
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8			
		農業政策	2		3前		2		
		組織マネジメント論	2		3前		2		
		農業経済学	2		3前		2		
		農業知的財産論	1		3前		1		
		マーケティング論	2		3後	2			
		農業経営分析・計画	2		3後		2		
		税制・簿記論	1		3後	1			
	臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8			
	簿記各論	1		4前	1				
	臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通			8		
	地域課題解決能力	東北の稲作		2	2通				
		東北の果樹							
		東北の野菜・花き							
		東北の畜産				2			
		農山村活性化論	2		3通		2		
農山村活性化論演習	2		3通		2				
	小計	65	14		48	21	10		
展開科目	応用的・創造的能力	食品製造・販売	2		2後		2		
		食品製造・販売実習	2		3通		2		
		デザイン論		10	1・2・3・4前		2		
		金融論			1・2・3・4前		2		
		発酵学・醸造学			1・2・3・4前		2		
		建築学			1・2・3・4前				
		社会福祉論			1・2・3・4前				
		栄養学			1・2・3・4前		2		
		山形・東北観光学			1・2・3・4前		2		
		デザイン論演習		10	1・2・3・4後		2		
		金融論演習			1・2・3・4後		2		
		発酵学・醸造学演習			1・2・3・4後		2		
		建築学演習			1・2・3・4後				
		社会福祉論演習			1・2・3・4後				
		栄養学演習			1・2・3・4後		2		
山形・東北観光学演習			1・2・3・4後		2				
	小計	4	20		0	10	14		
総合	総合的能力	経営分析・計画演習	4		4通		4		
	小計	4	0		0	0	4		
合計		89	38		53	37	37	※年間の履修単位は46単位以下	

編入学の履修モデル表
 (山形県立農林大学校「農産加工経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当 年次	編入認 定 単位数	履修年次		備 考	
		必修	選択			3年次	4年次		
基礎科目	地域等の 特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前		2		
		哲学と東北	2		3前		2		
	コミュニ ケーション 能力	コミュニケーション論	2		1前		2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2			
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2			
		スポーツ	1		1前	1			
		SDGsと倫理	2		1後		2		
	一般教養 (人間と自 然・スポー ツ・社会・情 報)	気象・気候学概論		2	1後		2		
		統計学							
		情報活用	1		2前		1		
	政治学概論					2			
	社会学概論		2	2前					
	法律学概論								
	経済学入門	2		2後		2			
	小 計	16	4		5	6	9		
生産理論・ 技術		土壌・肥料学	2		1前		2		
		農業概論	4		1前		4		
		耕畜連携論	1		1前		1		
		農業概論演習	2		1後		2		
		植物保護学		2	1後		2		
		家畜衛生学							
		圃場実習Ⅰ	8		1通	8			
		先端農業技術論	1		2後	1			
		栽培各論(稲作)							
		栽培各論(果樹)		2	2通				
		栽培各論(野菜・花き)					2		
		飼育各論(畜産)							
		圃場実習Ⅱ(稲作)							
		圃場実習Ⅱ(野菜・花き)		8	2通	8			
		圃場実習Ⅱ(果樹)							
		圃場実習Ⅱ(畜産)							
	職業専門科目		農業実地体験実習	1		1通	1		
			農業生産工程・食品衛生論	2		2前	2		
			SDGsと農業・森林業	2		2後	2		
		国際農業論	1		2後	1			
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8			
		農業政策	2		3前		2		
		組織マネジメント論	2		3前		2		
		農業経済学	2		3前		2		
		農業知的財産論	1		3前		1		
		マーケティング論	2		3後	2			
		農業経営分析・計画	2		3後		2		
		税制・簿記論	1		3後	1			
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8		
		簿記各論	1		4前	1			
		臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通			8	
地域課題 解決能力		東北の稲作							
		東北の果樹		2	2通				
		東北の野菜・花き					2		
		東北の畜産							
		農山村活性化論	2		3通		2		
		農山村活性化論演習	2		3通		2		
	小 計	65	14		35	23	21		
展開科目		食品製造・販売	2		2後	2			
		食品製造・販売実習	2		3通	2			
		デザイン論			1・2・3・4前		2		
		金融論			1・2・3・4前		2		
		発酵学・醸造学		10	1・2・3・4前	2			
		建築学			1・2・3・4前				
		社会福祉論			1・2・3・4前				
		栄養学			1・2・3・4前	2			
		山形・東北観光学			1・2・3・4前		2		
		デザイン論演習			1・2・3・4後		2		
		金融論演習			1・2・3・4後		2		
		発酵学・醸造学演習		10	1・2・3・4後	2			
		建築学演習			1・2・3・4後				
		社会福祉論演習			1・2・3・4後				
	栄養学演習			1・2・3・4後	2				
	山形・東北観光学演習			1・2・3・4後		2			
	小 計	4	20		12	8	4		
総合	総合的能力	経営分析・計画演習	4		4通		4		
	小 計	4	0		0	0	4		
合 計		89	38		52	37	38	※年間の履修単位は46単位以下	

127

75

編入学の履修モデル表
(山形県立農林大学校「林業経営学科」から編入学した場合)

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	編入認定単位数	履修年次		備考	
		必修	選択			3年次	4年次		
基礎科目	地域等の特性	山形・東北の風土・伝統文化	2		1前		2		
		哲学と東北	2		3前		2		
	コミュニケーション能力	コミュニケーション論	2		1前		2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		1後	2			
		ビジネス英語Ⅱ	2		2前	2			
	一般教養 (人間と自然・スポーツ・社会・情報)	スポーツ	スポーツ	1		1前			
			SDGsと倫理	2		1後		2	
			気象・気候学概論		2	1後		2	
			統計学						
			情報活用	1		2前		1	
		政治学概論		2			2		
		社会学概論			2前				
	法律学概論								
	経済学入門	2		2後		2			
	小計	16	4		5	4	11		
職業専門科目	生産理論・技術	森林土壌・樹木学	2		1前	2			
		造林学	2		1前	2			
		森林生産学	2		1前	2			
		森林労働安全衛生論	1		1前	1			
		非木材森林産品概論	1		1後	1			
		森林保護学	2		1後	2			
		森林保全学	2		1後	2			
		演習林実習Ⅰ	8		1通	8			
		測量学	2		2前	2			
		森林情報学	1		2前	1			
	経営全般	先端森林業技術論	1		2後	1			
		演習林実習Ⅱ	8		2通	8			
		森林業実地体験実習	1		1通	1			
		木質科学概論	2		2前		2		
		SDGsと農業・森林業	2		2後	2			
		国際森林業論	1		2後	1			
		木材利活用論	2		2後		2		
		臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)	8		2通	8			
		森林環境政策	2		3前		2		
		組織マネジメント論	2		3前		2		
		森林経営管理学	2		3前	2			
		マーケティング論	2		3後	2			
		森林業経営分析・計画	2		3後		2		
	地域課題 解決能力	税制・簿記論	1		3後	1			
		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)	8		3通		8		
		木材加工・販売実習	2		3通		2		
		簿記各論	1		4前	1			
		臨地実務実習Ⅲ(経営総合)	8		4通		8		
		東北の森林資源管理		2	2通	2			
		東北の森林資源利活用							
		農山村活性化論	2		3通		2		
		農山村活性化論演習	2		3通		2		
		小計	82	2		52	24	8	
展開科目	応用的・創造的能力	森林生態系サービス保全利用論	2		2前		2		
		森林生態系サービス保全利用論演習	2		2後		2		
		デザイン論		10	1・2・3・4前		2		
		金融論			1・2・3・4前		2		
		発酵学・醸造学			1・3・4前				
		建築学			1・3・4前		2		
		社会福祉論			1・2・3・4前		2		
		栄養学			1・2・3・4前				
		山形・東北観光学			1・3・4前		2		
		デザイン論演習			1・2・3・4後		2		
		金融論演習			1・2・3・4後		2		
		発酵学・醸造学演習			1・3・4後				
		建築学演習		1・3・4後		2			
		社会福祉論演習		1・2・3・4後		2			
		栄養学演習		1・2・3・4後					
		山形・東北観光学演習		1・3・4後		2			
			小計	4	20		0	12	12
総合	総合的能力	4		4通		4			
	経営分析・計画演習	4							
	小計	4	0		0	0	4		
合計		106	26		57	40	35	※年間の履修単位は46単位以下	
		132				75			

農業実地体験実習 予定施設一覧

No	区分	実習施設名	地域	所在地	備考
1	野菜	齋藤智実	村山	尾花沢市	水稲、すいか
2	果樹	今野智夫	村山	山形市	ぶどう
3	果樹	株式会社 ヤマガタ果園	村山	東根市	さくらんぼ、もも、ぶどう、水稲
4	稲作	農事組合法人 ファーム北平田	庄内	酒田市	水稲、大豆、ねぎ等
5	畜産	有限会社 ワーコム農業研究所	最上	真室川町	肉用牛、水稲、野菜
6	稲作	株式会社 黒澤ファーム	置賜	南陽市	水稲、アスパラガス、さといも等
7	果樹	農事組合法人 くだもの畠	置賜	高畠町	もも、ラフランス、おうとう、ぶどう、りんご
8	稲作	株式会社 まいすたあ	庄内	鶴岡市	水稲、小麦
9	稲作	株式会社 井上農場	庄内	鶴岡市	水稲、トマト、こまつな
10	花き	有限会社 クリタ園芸	最上	新庄市	サンパチェンス、ミニシクラメン等

森林業実地体験実習 予定施設一覧

No	区分	実習施設名	地域	所在地	備考
1	森林組合	最上広域森林組合	最上	真室川町	
2	素材生産事業体	有限会社 庄司林業	村山	大江町	
3	製材・木材加工 事業体	株式会社 山形城南木材市場	村山	山形市	
4	きのこ生産 事業体	農事組合法人 オークファーム	最上	鮭川村	なめこ
5	苗木生産 事業体	橋本種苗園	最上	真室川町	
6	森林組合	西村山地方森林組合	村山	西川町	
7	素材生産事業体	マルカ林業株式会社	最上	新庄市	
8	製材・木材加工 事業体	株式会社 アイタ工業	置賜	米沢市	
9	きのこ生産 事業体	有限会社 マッシュハウス最上	最上	最上町	まいたけ、きくらげ
10	森林組合	温海町森林組合	庄内	鶴岡市	
11	素材生産事業体	有限会社 遠田林産	庄内	酒田市	
12	製材・木材加工 事業体	協和木材株式会社 新庄工場	最上	新庄市	

臨地実務実習等実施要領（案）

東北農林専門職大学

<目次>

I 臨地実務実習等の学外実習の概要と学外実習運営委員会

- 1 学外実習の概要
- 2 学外実習運営委員会
 - (1) 目的と構成員
 - (2) 所掌事務

II 臨地実務実習

1 臨地実務実習の概要

- (1) 目的
- (2) 構成
- (3) 時期

2 臨地実務実習の種類と内容

- (1) 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）
- (2) 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）
- (3) 臨地実務実習Ⅲ（経営総合）

3 実習先の選定の考え方とスケジュール

4 実習に関する役割分担

- (1) 学外実習責任者
- (2) 臨地実務実習担当者及び指導教員チーム
- (3) 臨地実務実習指導者及び実習先
- (4) 学生
- (5) 関係機関（県総合支庁の農業普及指導員、林業普及指導員）

5 評価

- (1) 目的
- (2) 臨地実務実習指導者による取組状況評価
- (3) 臨地実務実習評価表の記入方法
- (4) 成績評価及び単位認定

6 安全管理体制

- (1) 安全教育の実施
- (2) 傷害及び賠償責任保険への加入
- (3) 守秘義務の遵守
- (4) 連絡体制

Ⅲ 実地体験実習

1 目的

2 実習先の選定と実施方法

(1) 実習先の選定

(2) 実施方法

3 実習に関する役割分担

(1) 学外実習責任者

(2) 実習担当教員

(3) 実習先及び実習指導者

(4) 学生

4 成績評価

5 安全管理体制

(1) 安全教育の実施

(2) 傷害及び賠償責任保険への加入

(3) 守秘義務の遵守

(4) 連絡体制

Ⅳ 学外実習の総括と次年度計画への反映

1 実地体験実習

2 臨地実務実習

I 臨地実務実習等の学外実習の概要と学外実習運営委員会

1 学外実習の概要

農林業の生産管理と経営管理に関して基本的な知識を修得するとともに、経営の多角化を含めた実践的な経営管理の手法を身に付けるため、1年次において実地体験実習を、2～4年次において臨地実務実習Ⅰ～Ⅲを配置する。実地体験実習では、山形県内の農業経営体及び森林業事業体が持つ優れた生産及び経営モデルに触れ、将来経営したい営農類型及び就業したい業態を検討するために必要な農林業現場の実態を学ぶ。臨地実務実習では、2年次から4年次までの3年間にわたり段階的・継続的に東北6県の優れた農業経営体及び森林業事業体へ赴き、これらが有する生産管理及び経営管理に関する実践的な知識、技術、経営戦略等を学修するとともに、高い職業倫理観を涵養する。

2 学外実習運営委員会

(1) 目的と構成員

学外実習運営委員会は、本学の実地体験実習と臨地実務実習が円滑に実施されることを目的に設置する。学外実習運営委員会は、本学に配置された専任教員と学長が特に必要と認める者をもって組織し、学部長が委員長となるものとする。

(2) 所掌事務

学外実習運営委員会は、以下の事項について協議し決定する。

- ①実地体験実習及び臨地実務実習の実習先の候補となる農業経営体及び森林業事業体の選定に関する事
- ②実地体験実習及び臨地実務実習の実習先の決定に関する事
- ③実地体験実習の担当教員の選定に関する事
- ④臨地実務実習の臨地実務実習担当者及び指導教員チームの選定に関する事
- ⑤実地体験実習及び臨地実務実習の実習実施計画の認定に関する事
- ⑥実地体験実習の実習指導者の学生に対する指導力の向上に関する事
- ⑦臨地実務実習指導者の学生に対する指導力の向上に関する事
- ⑧実地体験実習及び臨地実務実習の成績評価の認定に関する事
- ⑨実地体験実習及び臨地実務実習の総括並びに次年度計画への反映に関する事
- ⑩その他実地体験実習及び臨地実務実習に当たり必要な事項に関する事

II 臨地実務実習

1 臨地実務実習の概要

(1) 目的

優れた農業経営体及び森林業事業体において臨地実務実習指導者の指導を受けながら実習することで、農業及び森林業経営者としての立場や責任、協調性や創造性、生産管理や経営管理の知識・技術を踏まえた総合的な経営能力に加えて高い倫理観を身に付けることを目的とする。

(2) 構成

臨地実務実習のうち、2年次の「臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）」（8単位）では主に生産管理、3年次の「臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）」（8単位）では主に経営管理に関する実践的な知識や技術、4年次の「臨地実務実習Ⅲ（経営総合）」（8単位）ではこれまで学んできた生産管理や経営管理に関する知識や技術を総合化した経営戦略の立案・実行に関する知識や技術を修得する。

(3) 時期

実習時期は、米をはじめ、さくらんぼ、りんご、すいか等の東北地方の特徴的な農産物の栽培歴や、植栽・下刈り・除伐・間伐・伐採・苗木生産等の主要な森林施業が東北地方において実施可能な適期を考慮して配置できるようにするため、2～4年生が履修する実臨地実務実習以外の科目を一切配置しない「臨地実務実習ウィーク」を前期30日間、後期30日間設定し、その中から前期、後期とも学生が臨地実務実習先と協議の上、各15日間選択できるようにする。なお、前期の「臨地実務実習ウィーク」は4月中下旬、5月上中旬及び6月下旬から7月上旬までの3期間×各2週間、後期の「臨地実務実習ウィーク」は9月中下旬、10月中下旬及び12月上中旬の3期間×各2週間を設定し、各期間2日から最大2週間（10日間）の連続した実習を行う。

2 臨地実務実習の種類と内容

(1) 「臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）」

①目的

【農業経営学科】

将来携わりたい経営形態（作目や事業内容）を踏まえマッチングした農業経営体（農業法人、個人経営体等）での実習を通じて、農業経営体の有する生産管理に関する学びを深めることとし、生産現場における生産計画、生産工程等に関する実践的な知識や技術を修得する。

【森林業経営学科】

将来携わりたい経営形態（事業内容）を踏まえマッチングした森林業事業体（森林組合、素材生産事業体、製材・木材加工事業体、きのこ生産事業体等）での実習を通じて、森林業事業体の有する生産管理に関する学びを深めることとし、生産現場における生産計画、生産工程等に関する実践的な知識や技術を修得する。

②目標

- ・生産現場での年間の生産計画について理解できる。

・各作業工程の実践的な技術について理解し、作業することができる。

③事前学修

実習の受講に当たっては、事前に下記内容について学ぶとともに必要な資格・免許を取得する。

【農業経営学科】

「土壌・肥料学」において土壌の基礎知識のほか、養分吸収特性、植物生産の代謝との関連、栄養特性、肥料の種類と特性等、「農業概論」及び「農業概論演習」において稲作や園芸作物・畜産の生産や生産物の取扱いに関する基礎全般、「耕畜連携論」において耕種農業と畜産業との連携、「植物保護学」において作物の病害虫及び雑草防除の理論と技術、「家畜衛生学」において畜産現場において必要な家畜衛生に関する一連の知識、「圃場実習Ⅰ」において、稲作、果樹、野菜・花き、畜産の生産管理に関する基礎的な知識や技術を学ぶとともに、小型車両系建設機械（整地、積込み、運搬）特別教育、フォークリフト運転技能講習を修了し、大型特殊自動車免許（農耕用）の資格を取得する。

【森林業経営学科】

「森林土壌・樹木学」において森林土壌の特性と樹木の成長特性等、「造林学」において複数の樹種を対象とした造林の基礎、「森林生産学」において森林作業や木材の収穫技術（路網配置を含む）等の知識、「森林労働安全衛生論」において労働災害の発生状況やその対策、労働安全衛生関係法令等、「非木材森林産品概論」において非木材森林産品（きのこ、山採り山菜、木炭等）の基礎的な知識、「森林生態系サービス保全利用論」において森林生態系サービスの保全利用に関する基礎的な知識、「森林保護学」において森林病虫獣害の発生原因や防除方法等、「森林保全学」において土砂移動の発生メカニズムとその対策、荒廃地の復元技術等に関する知識、「演習林実習Ⅰ」において、林業機械の基本操作、森林の調査方法、造林技術、労働安全管理等、森林資源の生産管理に関する基礎的な知識や技術を学ぶとともに、刈払機取扱作業、チェーンソーによる伐木造材作業等の特別教育、小型車両系建設機械（整地、積込み、運搬）特別教育、赤十字救急法基礎講習（赤十字ベシクライフサポーター認定証）、赤十字救急法救急員（赤十字ファーストエイドプロバイダー）の資格を取得する。

＜必要な知識・技術や資格・免許等＞

項目	必要な知識・技術	資格・免許
農業経営学科	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作、果樹、野菜・花き、畜産の生産管理に関する基礎的な知識や技術 ・土壌肥料、植物栄養、養分、肥料に関する基礎知識 ・耕種農業と畜産業との連携 ・作物病虫害及び雑草防除の理論と技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・小型車両系建設機械特別教育 ・フォークリフト運転技能講習 ・大型特殊自動車免許（農耕用）
森林業経営学科	<ul style="list-style-type: none"> ・林業機械の基本操作、森林の調査方法、造林技術、労働安全管理など森林の生産管理に関する基礎的な知識や技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈払機取扱作業 ・チェーンソーによる伐木造材作業等の特別教育

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌、樹木、造林、収穫技術（路網配置を含む）、労働安全衛生、非木材森林産品、森林生態系サービスの保全利用に関する基礎知識 ・ 森林病虫獣害の発生原因や防除方法 ・ 土砂移動の発生メカニズムとその対策、荒廃地の復元技術等に関する知識と技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型車両系建設機械特別教育 ・ 赤十字救急法基礎講習 ・ 赤十字救急法救急員認定証
--	--	---

（２）「臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）」

①目的

【農業経営学科】

2年次から引き続いて、将来携わりたい経営形態（作目や事業内容）を踏まえマッチングした農業経営体（農業法人、個人経営体等）での実習を通じて、これまで学んできた生産管理に関する知識や技術を土台としながら、農業経営体の持つ優れた経営管理に関する学びを深めることとし、生産現場における事業計画、経営管理（労務、財務、物品管理、リスク管理等）等に関する実践的な知識や技術を修得する。

【森林業経営学科】

2年次から引き続いて、将来携わりたい経営形態（事業内容）を踏まえマッチングした森林業事業体（森林組合、素材生産事業体、製材・木材加工事業体、きのこ生産事業体等）での実習を通じて、これまで学んできた生産管理に関する知識や技術を土台としながら、森林業事業体の持つ優れた経営管理に関する学びを深めることとし、生産現場における事業計画、経営管理（労務、財務、物品管理、リスク管理等）等に関する実践的な知識や技術を修得する。

②目標

- ・ 農業経営体及び森林業事業体の事業計画について理解できる。
- ・ 経営管理（労務、財務、物品管理、リスク管理、マーケティング戦略等）に関する実践的な知識や技術について理解できる。

③事前学修

実習の受講に当たっては、事前に下記内容について学ぶとともに資格・免許を取得する。

【共通】

「SDGs と農業・森林業」において持続可能な農業・森林業へ向けた取組の進め方を学ぶとともに、農林業生産に起因する環境問題とその対策について考え、SDGs の達成・実現に向けた農業及び森林業のあり方について学ぶ。

【農業経営学科】

「農業生産工程・食品衛生論」において GAP や食品化学・食品衛生の基礎知識や先進事例、「先端農業技術論」において先端技術の活用状況とその内容、「国際農業論」において海外の農業の最新動向、「食品製造・販売」において食品の安全、環境保全に関わる法律や行政の仕組、衛生管理、「栽培各論」及び「飼育

各論」において将来の営農の軸となる分野（稲作、果樹、野菜・花き、畜産のいずれか1つを選択）の専門的な生産技術、「東北の稲作」・「東北の果樹」・「東北の野菜・花き」及び「東北の畜産」（これら4科目のうち1科目を選択）において東北各県の生産状況や栽培技術の特徴、東北地方の農業が有する地域ポテンシャル、「圃場実習Ⅱ」において将来の営農の軸となる分野（稲作、果樹、野菜・花き、畜産の4つのいずれか）を1つ選択し、専門的な生産管理に関する知識や技術を学ぶとともに、刈払機取扱作業者を修了する。

【森林業経営学科】

「測量学」において測量手法に関する基礎的な知識、「森林情報学」において情報技術等を森林業分野で利用するための基礎的な知識、「木質科学概論」において木材に関する科学的特徴や性質等に関する知識、「先端森林業技術論」において森林業分野における先端技術（ICT、レーザー森林解析、ロボット等）の活用方法等、「国際森林業論」において海外の森林業に関する最新動向、「木材利活用論」において木材の利用や加工、木材の流通等、「東北の森林資源管理」及び「東北の森林資源利活用」（これら2科目のうち1科目を選択）において東北各県の森林資源管理、森林資源の利活用に関する現状や関連技術の特徴、東北地方の森林業が有する地域ポテンシャル、「演習林実習Ⅱ」において森林の保護管理技術、造林技術、森林資源量調査、林内路網の作設、非木材森林製品の生産など森林資源の生産管理に関するより高度な知識や技術を学ぶとともに、車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬・積込・掘削）、伐木等機械の運転の業務に係る特別教育、走行集材機械の運転の業務に係る特別教育、簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育を修了する。

＜必要な知識・技術や資格・免許等＞

項 目	必要な知識・技術	資格・免許
共通	・持続可能な農業・森林業へ向けた取組の進め方、農林業生産に起因する環境問題とその対策、SDGsの達成・実現に向けた農業及び森林業のあり方	
農業経営学科	・専門的な生産管理に関する知識や技術 ・GAPや食品化学、食品衛生の基礎知識 ・海外の農業の最新動向 ・食品の安全、環境保全に関わる法律や行政の仕組、衛生管理	・刈払機取扱作業者
森林業経営学科	・測量手法、森林の保護管理技術、造林技術、森林資源量調査、林内路網の作設、非木材森林製品等生産管理に関する知識や技術 ・森林情報技術の基礎知識や先端技術の活用方法 ・海外の森林業に関する最新動向	・車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬・積込・掘削） ・伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ・走行集材機械の運転の業務に係る特別教育

	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、木質の科学的特徴や性質と利用方法 ・木材の加工、流通に関する基礎知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育
--	---	---

(3)「臨地実務実習Ⅲ（経営総合）」

①目的

【農業経営学科】

3年次から引き続いて、将来携わりたい経営形態（作目や事業内容）を踏まえマッチングした農業経営体（農業法人、個人経営体等）での実習を通じて、これまで学んできた生産管理や経営管理に関する知識や技術を総合化し、農業経営体における経営戦略の立案・実行に関する知識や技術を修得する。

【森林業経営学科】

3年次から引き続いて、将来携わりたい経営形態（事業内容）を踏まえマッチングした森林業事業体（森林組合、素材生産事業体、製材・木材加工事業体、きのこ生産事業体等）での実習を通じて、これまで学んできた生産管理や経営管理に関する知識や技術を総合化し、森林業事業体における経営戦略の立案・実行に関する知識や技術を修得する。

②目標

- ・農業経営体及び森林業事業体の経営戦略について理解できる。
- ・社会情勢等の変化に対応した経営戦略を構築できる。

②事前学修

実習の受講に当たっては、事前に下記内容について学ぶ。

【共通】

「組織マネジメント論」において組織効率を最大限に高める手法等、「マーケティング論」においてマーケティングの基礎的な知識やリサーチ手法等、「税制・簿記論」において基礎的な税の仕組みや商業の簿記原理等、「農山村活性化論」及び「農山村活性化論演習」において農山村生活や地域社会を取り巻く課題の改善や解決に向けた実践的手法等を学ぶ。

【農業経営学科】

「農業政策」において日本や海外も含めた農業政策や制度等に関する基礎的な知識、「農業経済学」において農業生産や農産物流通、消費、貿易、環境等に関わる経済諸問題、「農業知的財産論」において知的財産法制の基礎知識、「農業経営分析・計画」において経営分析や経営計画の考え方や手順とデータ処理、「食品製造・販売実習」において食品製造と衛生管理、販売に関する知識や技術、を学ぶ。

【森林業経営学科】

「森林環境政策」において国内外の森林・林業・環境に関する政策や参加・協働型の政策形成手法など持続可能な森林業の実践のための基礎的な知識、「森林経営管理学」において森林計画制度や森林経営計画に基づく持続的な森林経営管理等に関する知識、「森林業経営分析・計画」において森林業経営の基

本的な考え方と実践手法、「木材加工・販売実習」において木材加工と販売に関する知識や技術を学ぶ。

＜必要な知識・技術＞

項目	必要な知識・技術
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・組織効率を最大限に高める手法 ・マーケティングの基礎的な知識やリサーチ手法 ・基礎的な税の仕組みや商業の簿記原理 ・農山村生活や地域社会の課題改善や解決に向けた実践的手法
農業経営学科	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や海外も含めた農業政策や制度等に関する基礎的な知識 ・農業生産や農産物流通、消費、貿易、環境等に関わる経済諸問題 ・知的財産法制の基礎知識 ・経営分析や経営計画の考え方や手順とデータ処理 ・食品製造と衛生管理、販売に関する知識や技術
森林業経営学科	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の森林・林業・環境に関する政策や参加・協働型の政策形成手法など持続可能な森林業の実践のための基礎的な知識 ・森林計画制度や森林経営計画に基づく持続的な森林経営管理等に関する知識 ・森林業経営の基本的な考え方と実践手法 ・木材加工と販売に関する知識や技術

3 実習先選定の考え方とスケジュール

臨地実務実習Ⅰの実習先は、将来の農業及び森林業経営者を目指す学生の模範となり、経営年数概ね10年以上で従業員（臨時を含む）を1名以上雇用し、かつ年間販売金額が概ね1千万円以上の農業経営体及び森林業事業体とし、学生の希望等を聴取した上で、学外実習運営委員会において選定する。具体的な手順は以下のとおり。

- i 本学は、山形県各総合支庁が事務局を担う「地域連携プロジェクトチーム」に対し、臨地実務実習先の候補となる農業経営体及び森林業事業体の実習先候補者リスト総括表（様式第1-1号）及び実習先候補者個票（様式第1-2号）の内容確認と修正を依頼する。山形県外の実習先については、各県農林部局に対して実習先候補者リスト（様式第1-1号及び様式第1-2号）の内容の確認と修正を依頼する。
- ii 学生は、臨地実務実習希望調書（様式第2号）と臨地実務実習学生カード（様式第3号）を提出する。
- iii 担当教員は、臨地実務実習希望調書と臨地実務実習学生カードの記載内容を基に学生へのヒアリングを実施し、臨地実務実習学生希望一覧表（様式第4号）を作成する。
- iv 学外実習運営委員会において、山形県総合支庁及び各県農林部局から提出された実習先候補者リスト（様式第1-1号及び様式第1-2号）に記載の経営内容及び臨地実務実習指導者等が臨地実務実習を実施するにふさわしいことを確認・承認し、その中から学生の実習先を選定する。なお、実習先1経営体・事業体当たりの受入学生数は、臨地実務実習Ⅰで1名、臨地実務実習Ⅱで1名、臨地実務実習Ⅲで1名とし、合計3名を上限とする。

- v 本学は、実習先候補の農業経営体及び森林業事業体へ臨地実務実習依頼書（様式第5号－1）及び臨地実務実習学生カード（様式第3号）を送付し、実習の受入れを依頼する。
- vi 実習先候補の農業経営体及び森林業事業体は、実習の受入れを承諾する場合は、承諾書（様式第6号－1）を本学に提出する。
- vii 承諾書を受領後、本学と実習先とで実施協定書（様式第7号）を締結するとともに、臨地実務実習一覧表（様式第8号）を作成し、該当する県総合支庁に送付する。

【実習先選定の手順】

手順	項目	時期	作成書類	書類作成者
i	実習先の候補となる農業経営体及び森林業事業体の照会、提出	7月	臨地実務実習先候補者リスト （様式第1－1号、 様式第1－2号）	県総合支庁
ii	学生の希望調査	9～10月	臨地実務実習希望調書 （様式第2号） 臨地実務実習学生カード （様式第3号）	学生
iii	学生と臨地実務実習担当者（教員）による面談の実施	11月	臨地実務実習学生希望一覧表 （様式第4号）	教員
iv	協議・調整、実習先候補者の選定 （教員・学生・実習先候補者）	12～1月	（学外実習運営委員会の開催）	
v	実習の依頼	2月	臨地実務実習依頼書 （様式第5号－1）	本学
vi	実習先の承諾	3月	承諾書（様式第6号－1）	実習先
vii	実習先の決定 （実施協定書の締結）	3月	実施協定書 （様式第7号－1） 臨地実務実習先一覧表 （様式第8号）	本学

なお、臨地実務実習Ⅱと臨地実務実習Ⅲは、前年度と同じ実習先での実習を基本とするが、実習先と学生双方の意思確認のため、年度ごとに臨地実務実習Ⅰと同様の手順を踏むものとする。ただし、実習を実施する前年度の12月末までに学生からの実習先の変更の申し出があった場合又は実習先の農業若しくは森林業経営者からの実習受入れの辞退の申し出があった場合には、学外実習運営委員会で協議し、やむを得ない事情があると認められる場合には、本学が速やかに当該学生の実習先を変更する調整を行う。

4 実習に関する役割分担

(1) 学外実習責任者

①役割

学外実習責任者は、学科長がその任に就き、実習の計画・実施・評価、指導体制の構築、実習先や県総合支庁の農業普及指導員、林業普及指導員との連絡調整、臨地実務実習指導者との実施方法・内容等に関する協議・調整を総括する。

②実習前の業務

実習開始前には、実習の目的に照らし合わせ、学内で必要な技能の学修が円滑に行われるよう臨地実務実習担当者を監督、指導する。実習先の臨地実務実習指導者の指導力と実習内容の水準を確保するため、臨地実務実習指導者に対して、実習前に実習の目的・目標、実習及び指導内容、成績評価等に関する研修会を開催するとともに、臨地実務実習Ⅰ～Ⅲ報告会への参加、実習後に行う実習指導の問題点や課題等に関する意見交換への参加を要請する。

③実習中の業務

実習中は、臨地実務実習担当者及び巡回指導に当たる専任教員等から報告を受け、各学生の実習状況の把握に努める。実習期間中に実習先の事情によって実習の実施が困難であると判断された場合には、学外実習運営委員会委員長と協議の上、臨地実務実習担当者に新しい臨地実務実習実施計画書（様式第9号－1）の作成を指示し、速やかに次の実習先での実習が実施できるようにする。

④実習後の役割

実習後は、臨地実務実習の成果を報告する臨地実務実習Ⅰ～Ⅲ報告会を開催し、臨地実務実習の学修状況を把握する。また、臨地実務実習指導者等の意見を集約し、次年度以降の臨地実務実習の実施方法に反映させる。

(2) 臨地実務実習担当者及び指導教員チーム

①役割

臨地実務実習担当者は、学生ごとに学外実習運営委員会で決定した専任教員1名がその任に就く。学外実習運営委員会において、学生ごとに臨地実務実習担当者を補佐する専任教員を1～2名選任し、臨地実務実習担当者をリーダーとして指導教員チームを編成する。

臨地実務実習担当者は、臨地実務実習が円滑に実施されるように学生、臨地実務実習指導者及び該当地域を所管する県総合支庁の農業普及指導員、林業普及指導員等の関係機関との連絡調整を行う。指導教員チームは、臨地実務実習実施計画書（様式第9号－1）に記載された実習が円滑に実施できるように学生を支援する。

②実習前の業務

臨地実務実習担当者は、臨地実務実習先候補者リスト（様式第1－1号及び様式第1－2号）、臨地実務実習希望調書（様式第2号）及び臨地実務実習学生カード（様式第3号）を基に学生に対するヒアリングを実施し、臨地実務実習学生希望一覧表（様式第4号）を作成する。実習先が決定した後に、学生の意向を聴取するとともに

に臨地実務実習指導者や関係機関と連携して臨地実務実習実施計画書（様式第9号-1）を作成し、学外実習運営委員会の承認を受ける。

実習開始前には、実習の目的に照らし、必要となる技能を修得させるとともに、学生としての姿勢・態度・身だしなみ、事故等への対応、守秘義務の遵守徹底、その他連絡・相談の徹底等について指導を行う。

③実習中の業務

実習中は、臨地実務実習指導者や該当地域を所管する県総合支庁の農業普及指導員、林業普及指導員等の関係機関と連携し、学生の臨地実務実習に臨む姿勢や学修の進捗状況、学生の抱える悩み等について情報を共有しながら、指導・支援を行う。

実習中の巡回指導として、専任教員が連携・分担し、実習先を半期ごとに1回訪問する。自らが臨地実務実習担当者となって指導する学生に対しては、巡回指導に限らず、電話やメール等により実習状況の把握に努める。

学生又は臨地実務実習指導者に、実習を実施できない可能性が生じた時は、学外実習責任者に遅滞なく報告する。

④実習後の業務

学生に対して、実習後のフォローアップとして助言・指導、改善に向けた課題提示等を実施する。

また、実習後、学生の学修状況等について臨地実務実習指導者と情報交換を行うとともに、学生が実習先を評価するアンケート調査の実施により課題の抽出と共有を図り、次年度の実習に反映させる。

（3）臨地実務実習指導者及び実習先

①役割

臨地実務実習指導者は、実習先の代表者又は職員で、事業や経営に関する高い見識を有する実務経験5年以上の者とする。実習開始前においては、本学の臨地実務実習担当者との連絡調整等の役割を担うとともに、臨地実務実習指導者としての指導力と実習内容の水準を確保するため、実習の目的・目標、実習及び指導内容、成績評価等に関する研修会に参加する。

実習中は、学生に対する指導と評価を行う。また、臨地実務実習担当者や該当地域を所管する県総合支庁の農業普及指導員、林業普及指導員等の関係機関と連携し、学生の臨地実務実習に臨む姿勢や学修の進捗状況、学生の抱える悩み等について情報を共有し、円滑に実習が行われるようにする。

実習終了後に開催される臨地実務実習Ⅰ～Ⅲ報告会や実習指導の問題点や課題等に関する意見交換への参加が要請された場合は参加する。

②学生指導時の留意事項

- ・日常業務に従事させることで、実践的な生産管理や経営管理等について学修できるよう指導する。
- ・実習前後や実習中において、実習先の農業経営体及び森林業事業体の経営等に関する学生の質問については、可能な範囲で対応する。
- ・業務に関する会合等へは、可能な限り参加させる。

- ・日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせない。
- ・実習中の作業に対しては、名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えない。
- ・実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的以外に使用しないとともに、外部に知られることのないよう指導を徹底する。また、実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的に使用する場合にあっては、事前に承諾を得るよう指導する。

③本学との連携

- ・実習開始前までに、学生及び臨地実務実習担当者と連携し臨地実務実習実施計画書（様式第9号-1）の作成を支援する。
- ・本学の巡回指導や電話等による学生の実習状況確認について協力する。
- ・実習指導上、支障となるような事案が発生した場合は、随時、本学と連絡を取り合い、情報を共有するとともに、連携して対応に当たる。
- ・事故、台風や地震等、その他諸事情による緊急事態が発生した場合は、後述の「6安全管理体制」に従い速やかに本学へ連絡し、連携して対応に当たる。

（4）学生

①事前準備

実習の受講に当たり、自分自身の将来の方向性等に鑑み、どのような農業経営体及び森林業事業体で何を学びたいのかよく考えて臨地実務実習希望調書（様式第2号）と臨地実務実習学生カード（様式第3号）を本学に提出する。臨地実務実習担当者となった専任教員との面談に臨み、臨地実務実習先候補を検討する。

実習先が決定した後に、実習先までの交通経路、宿泊施設、実習先からの便宜（昼食、更衣室、宿泊施設、送迎等）について確認する。

臨地実務実習担当者から、実習中に記録する報告書（様式第10号）と自己点検表（様式第11～13号）の記入方法について指導を受ける。

②実習中の留意事項

◆規則・時間の厳守

- ・実習先の規則等を厳守する。実習時間は、6～8時間の範囲で可能な限り実習先の就業時間に準じる。

◆服装・整容・態度

- ・圃場や山林等での作業に適した服装を着用する。
- ・実習生として服装・頭髪・爪・化粧等は、清楚で不快感を与えないように整える。
- ・礼儀と作法をわきまえ、謙虚で誠実な態度を取るよう留意する。

◆健康管理

- ・健康管理には十分留意し、規則正しい生活を送る。
- ・圃場や山林等の現場における危険性の高い作業、危険リスク等について理解し、予防対策を行う。
- ・体調を崩した場合は、臨地実務実習指導者に連絡し対処する。

◆指示の遵守

- ・実習中は、臨地実務実習指導者の指示に従って行動する。
- ・指示や指導について不明な点がある場合は、質問・相談し正確な行動をとり、勝手な解釈による行動はしない。

◆報告・連絡・相談

- ・欠席、遅刻、早退、通学中又は実習中に発生した事故等は、臨地実務実習指導者及び本学へ連絡する。
- ・巡回指導以外で、本学教員に相談したい事項が生じた場合は、電話やメールで連絡する。
- ・緊急事態が発生した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡するとともに、必要に応じて、本学へ連絡する。

◆守秘義務の遵守

- ・実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的以外に使用しない。また、外部に知られることのないよう守秘義務を遵守する。
- ・実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的に使用する場合は、事前に実習先の承諾を得る。

◆実習先への通学

- ・実習先への通学は、原則として公共交通機関を使用する。
- ・実習先の立地により自動車等の使用が必要な場合は、臨地実務実習指導者や実習先に自動車等の利用が可能なことを確認し、自動車等使用届（様式第14号）を本学に提出して許可を得る。
- ・安全運転を徹底するとともに、通学時間には時間的余裕を持つ等し、事故を未然に防ぐ。

◆実習先への宿泊

- ・立地等により実習先に宿泊する場合は、実習先の生活様式を理解して適切に利用する。
- ・宿泊中は、居室の整理・整頓を心がけ、清掃を行う。

◆学修に対する姿勢

次の視点により、積極的に自ら学ぶ姿勢を持って学修に取り組む。

【視点】

- ・現在の作業・業務は、全体の仕事の流れの中でどこの部分なのか。
- ・現在の作業・業務は、なぜ行うのか。
- ・現在の作業・業務で、注意すべきことは何か。
- ・現在の作業・業務で、改善すべきことはないか。
- ・現在の作業・業務を、どのようにまとめ、記録し、今後の学修に役立たせるか。

また、実習先の方々とコミュニケーションを持ち、言動の中から社会人（経営者）としての心構えを感じ取り、将来の自分自身の礎石とする。

⑩報告書の提出

- ・実習中は毎日、報告書（様式第10号）中の実習記録を記入し、前期及び後期の実

習終了後1週間以内に、報告書(様式第10号)と自己点検表(様式第11~13号)を提出する。

(5) 関係機関(県総合支庁の農業普及指導員、林業普及指導員)

実習前、実習中、実習後の各場面において、本学の臨地実務実習担当者や臨地実務実習指導者からの求めに応じ、随時、必要なサポートを行う。

5 評価

(1) 目的

臨地実務実習Ⅰ、臨地実務実習Ⅱ及び臨地実務実習Ⅲのそれぞれにおいて学修することとなっている事項の到達度について、把握することを目的とする。

(2) 臨地実務実習指導者による取組状況評価

- ①臨地実務実習指導者は、臨地実務実習出欠表(様式第15号)により、学生の出欠の状況等を確認する。
- ②臨地実務実習指導者は、臨地実務実習評価表(様式第16~18号)を作成し、前期及び後期の実習終了後1週間以内に郵送等で本学に提出する。

(3) 臨地実務実習評価表の記入方法

臨地実務実習指導者は、実習の取組状況について、臨地実務実習評価表(様式第16~18号)を用いて評価する。評価表は、社会人(経営者)としての心構え、生産管理、経営管理及び経営総合の各項目について、下表の評価基準により5段階で評価するとともに、総合コメント等を記載する。

【評価基準】

評 価	内 容
A：優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該事項を実施できる。
B：良好	時として助言・指導を必要とするが、当該事項を実施できる。
C：普通	助言・指導を必要とするが、当該事項を実施できる。
D：やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該事項を実施できる。
E：劣る	常に助言・指導を行うが、当該事項を実施できない。

(4) 成績評価及び単位認定

全日程の80%(前期・後期合わせて24日)以上の出席で単位認定の資格を得るものとし、成績評価は、

- ①臨地実務実習指導者が行う臨地実務実習評価表による取組状況の評価
 - ②臨地実務実習担当者による作業記録・自己点検表の評価
 - ③臨地実務実習担当者による報告書の評価
 - ④臨地実務実習担当者による臨地実務実習Ⅰ~Ⅲ報告会での発表内容の評価
- について下表に基づき臨地実務実習担当者が総合的に評価し、学外実習運営委員会で認定する。

評価項目	様式等 [作成者]	比率
①報告書	報告書（様式第 10 号）[学生]	40%
②自己点検表	自己点検表（様式第 11～13 号）[学生]	10%
③評価表	臨地実務実習評価表（様式第 16～18 号）[臨地実務実習指導者]	25%
④報告会	パワーポイント等を使用した発表 [学生]	25%

6 安全管理体制

（1）安全教育の実施

実習が安全に実施できるよう、学内において安全教育を行う。

（2）傷害及び賠償責任保険への加入

実習中は様々な事故の発生が想定されることから、学生の実習中のケガ等及び学生が他人にケガを負わせたり物品を壊したりする場合等に備え、傷害及び賠償責任保険に加入させる。

（3）守秘義務の遵守

実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的以外に使用しないことを徹底するとともに、外部に知られることのないよう、学生及び実習先に対して指導する。また、実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的に使用する場合は、事前に学生及び実習先の承諾を得るものとする。

（4）連絡体制

連絡先、連絡体制を下記のとおり定める。

【本学の連絡先】

（平日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分まで）

①農林業経営学部農業経営学科 臨地実務実習担当

電話 0 2 3 3 - 〇〇 - 〇〇〇〇

②農林業経営学部森林業経営学科 臨地実務実習担当

電話 0 2 3 3 - 〇〇 - 〇〇〇〇

③東北農林専門職大学（代表番号）

電話 0 2 3 3 - 〇〇 - 〇〇〇〇

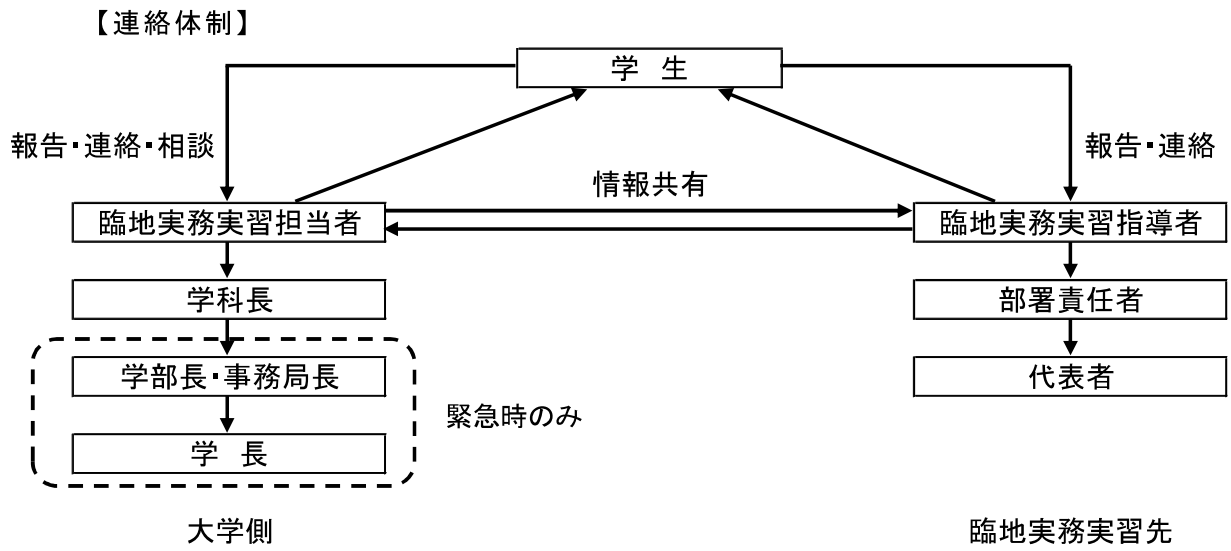
（平日の上記時間外、土・日・祝日）

④農林業経営学部農業経営学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

電話 〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

⑤農林業経営学部森林業経営学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

電話 〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇



Ⅲ 実地体験実習

1 目的

【農業経営学科】

○「農業実地体験実習」

山形県内の農業経営体を持つ優れた生産及び経営モデルに触れ、将来経営したい営農類型を検討するために必要な農業現場の実態を学ぶため、優れた農業経営体におけるオムニバス形式（前期及び後期にそれぞれ稲作、果樹、野菜・花き、畜産の経営体を巡回）での実習を実施することで、農業現場の生産、加工、販売等に関する基礎的な知識を修得する。なお、前期及び後期にそれぞれ稲作、果樹、野菜・花き及び畜産の経営体での実習を1回以上行う。

【森林業経営学科】

○「森林業実地体験実習」

山形県内の優れた森林業経営モデルに触れ、将来就業したい業態を検討するために必要な森林業経営の現場の実態の学びを深めることとし、優れた森林業事業体におけるオムニバス形式（前期及び後期にそれぞれ森林資源管理（森林組合、素材生産、苗木生産等）、森林資源利活用（製材・木材加工、きのこ生産等）の事業体を巡回）での実習を実施することで、森林業経営の現場の生産、加工、販売等に関する基礎的な知識を修得する。なお、前期及び後期にそれぞれ森林資源管理（森林組合、素材生産、苗木生産等）及び森林資源利活用（製材・木材加工、きのこ生産等）の事業体での実習を1回以上行う。

2 実習先の選定と実施方法

（1）実習先の選定

学外実習運営委員会において、県総合支庁が事務局を担う「地域連携プロジェクトチーム」から提出された実習先候補者リスト（様式第1-1号）等の中から10の農業経営体と12の森林業事業体を選定する。2年次以降に専攻する分野（農業経営学科にあつては、稲作、果樹、野菜・花き及び畜産。森林業経営学科にあつては森林資源管理及び森林資源利活用）を1年次の年度末までに決定する必要があるため、前期（4～8月）に訪問する実習先は、それぞれの専攻分野が1か所以上となるように選定する。

本学は、実習先候補の農業経営体及び森林業事業体へ実地体験実習依頼書（様式第5号-2）を送付し、実習の受入れを依頼する。実習先候補の農業経営体及び森林業事業体は、実習の受入れを承諾する場合は、承諾書（様式第6号-2）を本学に提出する。

承諾書を受領後、本学と実習先とで実施協定書（様式第7号-2）を締結するとともに、臨地実務実習先一覧表（様式第8号）に当該実習先を記載し、該当する県総合支庁に送付する。なお、以上の選定スケジュールは臨地実務実習に準じる。

(2) 実施方法

①農業実地体験実習

実地体験実習の実施日は、学生及び教員の負担を配慮し、実習時限の前後の時限には他の授業を配置しない。実習先までの移動は、本学が借り上げる大型バス1台（定員45名）で行う。実習先には、当該実習先の実習担当教員1名に加えて、それを補佐する専任教員2名で引率する。

実習先では、効率的かつ効果的に実習を実施するため、2つの実習班（A班とB班、各16名）を編成し、同日、同一の実習先において、班単位で交互に実習内容（作業Cと作業D）を入れ替えて実施する（A班が作業C、B班が作業Dを行い、その後作業内容を入れ替え、A班が作業D、B班が作業Cを行う）。実習は、1経営体につき1日（実習時間は90分）、隔週で実施する

実習中は、実習先の事業や経営に関する高い見識を有する実務経験5年以上の者である実習指導者を各班に1名以上配置するほか、各班に専任教員1名を配置し連携して指導する。

②森林業実地体験実習

実地体験実習の実施日は、学生及び教員の負担を配慮し、実習時限の前後の時限には他の授業を配置しない。実習先までの移動は、本学が所有するワゴン車1台（定員10名）で行う。実習先には、当該実習先の実習担当教員1名で引率する。

実習先では、実習班を8名1班編成とし、効果的に実習を実施する。実習は、1事業体につき1日（実習時間は90分）、隔週で実施する。

実習中は、実習先の事業や経営に関する高い見識を有する実務経験5年以上の者である実習指導者を1名以上配置し、本学の実習担当教員1名と連携して指導する。

3 実習に関する役割分担

(1) 学外実習責任者

①役割

学外実習責任者は、学科長がその任に就き、実習の計画・実施・評価、指導体制の構築、実習先との連絡調整、実習指導者との実施方法・内容等に関する協議・調整等を総括する。

②実習前の業務

実習開始前には、実習の目的に照らし合わせ、学内で必要な技能の学修が円滑に行われるよう実習担当教員を監督、指導する。実習先の実習指導者の指導力と実習内容の水準を確保するため、実習指導者に対して、実習前に実習の目的・目標、実習及び指導内容、成績評価等に関する研修会を開催する。

③実習後の役割

各専攻分野の実地体験実習を1回以上実施した後に、学科ごとに中間報告会を開催する。また、計画した実地体験実習がすべて終了した後に体験実習報告会を開催する。

(2) 実習担当教員

① 役割

実習担当教員は、実地体験実習の実習先ごとに学外実習責任者が指名した専任教員1名がその任に就く。実習担当教員は、実地体験実習が円滑に実施されるように学生、実習先及び実習指導者との連絡、調整を行う。

② 実習前の業務

実習担当教員は、実習先及び実習指導者と連携して実地体験実習実施計画書（様式第9号-2）を作成し、学外実習運営委員会の承認を受ける。

学生に対して、実習の目的、到達点、作業手順等の実習の内容に関する説明を行い、十分に理解させるとともに、屋外での実習や農作業機械又は林業機械を使用する実習等での労働災害を未然に防止するため、学生に対する安全衛生教育を徹底する。さらに、守秘義務の遵守を徹底するため、学生が実習中に知り得た秘密や個人情報を本学の教育・研究目的以外に使用しないように指導するとともに、これらの内容が外部に漏えいすることのないよう、本学の担当教員及び学生並びに実習先の実習指導者等に徹底する。また、実習中に知り得た秘密や個人情報を本学の教育・研究目的に使用する場合にあつては、実習先から事前に承諾を得るよう、同様に徹底する。

③ 実習中の業務

実習指導者及び同行している本学の専任教員と連携し、学生の学修状況を確認しながら適切な指導を行う。

③ 実習後の業務

学生に対して、実習後のフォローアップとして助言・指導、改善に向けた課題提示等を実施する。また、中間報告会及び体験実習報告会に向けて準備する学生を支援する。

(3) 実習先及び実習指導者

① 役割

実習指導者は、実習先の代表者又は職員で、事業や経営に関する高い見識を有する実務経験5年以上の者とし、本学の実習担当教員との連絡調整等の役割を担う。

実習中は、実習担当教員と連携し、学生の実習に臨む姿勢や学修の進捗状況を把握しながら、指導を行う。

② 学生指導時の留意事項

- ・ 日常業務に従事させることで、実践的な生産管理や経営管理等について学修できるよう指導する。
- ・ 生産技術もしくは経営管理等に関する学生の質問については、可能な範囲で対応する。
- ・ 実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的以外に使用しないとともに、外部に知られることのないよう指導を徹底する。また、実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的に使用する場合にあつては、事前に承諾を得

るよう指導する。

③本学との連携

- ・実習担当教員が作成する実習実施計画書の作成を支援する。
- ・中間報告会及び体験実習報告会に出席の依頼があった場合には可能な範囲で参加する。

(4) 学生

①事前準備

実習先の農業経営体及び森林業事業体の経営内容等を調べるとともに、自分自身が将来経営したい営農類型又は将来就業したい業態をよく考えて実習に臨む。

②実習中の留意事項

◆服装・整容・態度

- ・圃場や山林等での作業に適した服装を着用する。
- ・実習生として服装・頭髪・爪・化粧等は、清楚で不快感を与えないように整える。
- ・礼儀と作法をわきまえ、謙虚で誠実な態度を取るよう留意する。

◆指示の遵守

- ・実習中は、実習担当教員又は実習指導者の指示に従って行動する。
- ・指示や指導について不明な点がある場合は、質問・相談し的確な行動をとり、勝手な解釈による行動はしない。

◆守秘義務の遵守

- ・実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的以外に使用しない。また、外部に知られることのないよう守秘義務を遵守する。
- ・実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的に使用する場合は、事前に実習先の承諾を得る。

③レポートの提出

- ・実習後、実習担当教員から与えられた助言・指導を踏まえ、実習先の経営内容と体験した作業内容を整理したレポートを実習終了後1週間以内に実習担当教員に提出する。

④中間報告会、体験実習報告会での発表

- ・各専攻分野の実地体験実習を1回以上実施した後に開催される中間報告会で、「私の就農・就業計画（中間報告）」を発表する。
- ・すべての実習先での実習が終了した後に行われる体験実習報告会で、「実習先における生産・経営モデルの特徴と私の就農・就業計画（まとめ）」を発表する。

4 成績評価

成績評価及び単位認定については、主体的に学修に取り組む態度、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について評価することとしており、授業科目ごとに、履修態度、レポート並びに中間報告会及び体験実習報告会での発表内容により、担当教員が総合的に成績評価を行い、学外実習運営委員会で認定する。

5 安全管理体制

(1) 安全教育の実施

実習が安全に実施できるよう、学内において安全教育を行う。

(2) 傷害及び賠償責任保険への加入

実習中は様々な事故の発生が想定されることから、学生の実習中のケガ等及び学生が他人にケガを負わせたり物品を壊したりする場合等に備え、傷害及び賠償責任保険に加入させる。

(3) 守秘義務の遵守

実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的以外に使用しないことを徹底するとともに、外部に知られることのないよう、学生及び実習先に対して指導する。また、実習中に知り得た秘密情報や個人情報を教育・研究目的に使用する場合は、事前に学生及び実習先の承諾を得るものとする。

(4) 連絡体制

連絡先、連絡体制を下記のとおり定める。

【本学の連絡先】

(平日 午前8時30分～午後5時15分まで)

① 農林業経営学部 農業経営学科 臨地実務実習担当

電話 0233-00-0000

② 農林業経営学部 森林業経営学科 臨地実務実習担当

電話 0233-00-0000

③ 東北農林専門職大学 (代表番号)

電話 0233-00-0000

(平日の上記時間外、土・日・祝日)

④ 農林業経営学部 農業経営学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

電話 000-0000-0000

⑤ 農林業経営学部 森林業経営学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

電話 000-0000-0000

IV 学外実習の総括と次年度計画への反映

1 臨地実務実習

すべての学生の臨地実務実習終了後に、学外実習運営委員会を開催し、学生から提出された報告書(様式第10号)及び自己点検表(様式第11～13号)並びに臨地実務実習指導者から提出された臨地実務実習評価表(様式第16～18号)に加えて、臨地実務実習担当者及び指導教員チームの意見を総括して、学生ごとに当該年度の臨地実務実習の問題点や課題を整理する。

臨地実務実習担当者は、学外実習運営委員会で整理された学生ごとの問題点や課題

を、臨地実務実習指導者と共有し、次年度の計画作成に反映させる。なお、臨地実務実習Ⅰ及び臨地実務実習Ⅱを履修した学生又は受入れた実習先からの申し出の有無に関わらず、学外実習責任者が次年度の実習先の変更が必要と判断した学生がいた場合には、当該学生の臨地実務実習担当者に実習先の見直しを指示する。

2 実地体験実習

すべての実地体験実習終了後に、学外実習運営委員会を開催し、学生が提出したレポート及び実習担当教員からの意見を総括して、実習先ごとに当該年度の実地体験実習の問題点や課題を整理する。

学外実習責任者は、次年度の実習担当教員を指名する。指名された実習担当教員は、整理された問題点や課題を踏まえて、次年度の実習実施計画を作成する。